

潮来市 日本一の水路のまち基本計画



令和4年1月

潮 来 市

はじめに

潮来市は、常陸利根川をはじめ多様な水辺に囲まれ、前川が市街地を流れています。低地部には水田が広がり、水郷景観の基調をなすとともに、水辺の植生や農家の屋敷林などが水郷の風情をとどめています。また、恵まれた水辺に暮らす水生動物や鳥類及び魚類などに特徴が見られるところです。

このような豊かな水の郷を市民の皆様とともに守り・育むため、日本一の水路のまち基本計画を策定いたしました。

本計画では、

「水郷潮来あやめ園や前川筋に残る水郷の歴史や文化を継承し未来に拓きます」

「大水面と大地の魅力を引き出し、水上レクリエーション等の水路の利活用を推進します」

「市民の日常に寄り添う水路のある暮らしを、市民・来訪者とともに実現します」

の3つ基本方針を示させていただきました。

また、水質の浄化や南幹線用水路の位置づけ、さらには、東国三社参りと水運の利活用についても検討いたしました。

これらの施策の推進については、地域を構成する市民の皆様・企業の皆様・行政のパートナーシップにより、日本一の水路のまちを目指した活動が大いに期待されるところです。

より一層のご支援をお願い申し上げます。

結びに、計画の策定にあたりまして、貴重なご意見等をいただきました市民の皆様をはじめ、熱心にご審議いただきました日本一の水路のまち基本計画策定協議会の皆様並びに関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

令和 4年 1月

潮来市長 原 浩 道

目次

はじめに

序. 計画の概要	1
Ⅰ. 現況の整理	
1. 潮来市の状況.....	4
2. 水路の現況.....	7
3. 他地域にみる事例.....	46
4. 日本一の水路のまちの視点	47
Ⅱ. 基本理念・方針及び全体計画	
1. 基本理念	48
2. 基本方針	55
3. 全体計画	56
Ⅲ. 個別計画	68
Ⅲ-1. 拠点の形成.....	69
1. 前川の河岸跡と船着き場の整備.....	69
2. 曲松下ボート・カヌー乗り場の整備.....	78
3. 南幹線用水路の船着き場の整備.....	80
Ⅲ-2. ネットワークの形成.....	84
1. 遊歩道の整備.....	84
2. 舟運の拡充.....	92

3. 水上スポーツとサイクルツーリズムによる	
新しい風景の創造.....	108
III-3. まちの活性化.....	110
1. 潮来らしさを演出する景観の形成.....	110
2. あやめ園周辺の活性化.....	117
3. 市街地の活性化.....	123
4. 水質の浄化.....	126
IV. 事業の推進に向けて	
1. 事業の推進.....	132
2. 今後の進め方.....	142

参考資料

序. 計画の概要

(1) 計画の目的

本市は、鹿島神宮への経路として板来の駅が設置されて以来、近・現代に至るまで、陸上や海上交通の要衝として栄え、水郷潮来として広く知られてきました。日本一の水路のまち基本計画は、潮来市の地域資源である水郷地形において「前川」「延方干拓南幹線用水路（以下「南幹線用水路」と称します）」の「舟運」「かわづくり」「かわを活かしたまちづくり」と潮来市内の活性化及び「霞ヶ浦(西浦)」「北利根川」「利根川」「鰐川」「北浦」「外浪逆浦」などの広域的な「水路」に着目し「日本一の水路のまち」の具現化を図るものです。

特に舟運の再生と船着場の整備について重点的に取り組むものとします。

(2) 計画の対象

計画の区域は、潮来市およびその周辺とし、舟運や東国三社参りなどの隣接地域を含めたものとします。特に「前川」と「南幹線用水路」を計画の中心とします。



図 1 計画の対象区域

(3) これまでの経緯

本基本計画は、以下の潮来市を取り巻く水郷環境を活かした構想・計画等の延長上にあり、実施計画の性格も持っています。直近では、前川津軽河岸跡整備基本計画（H29）に基づき津軽河岸あと広場が令和元年に整備されました。

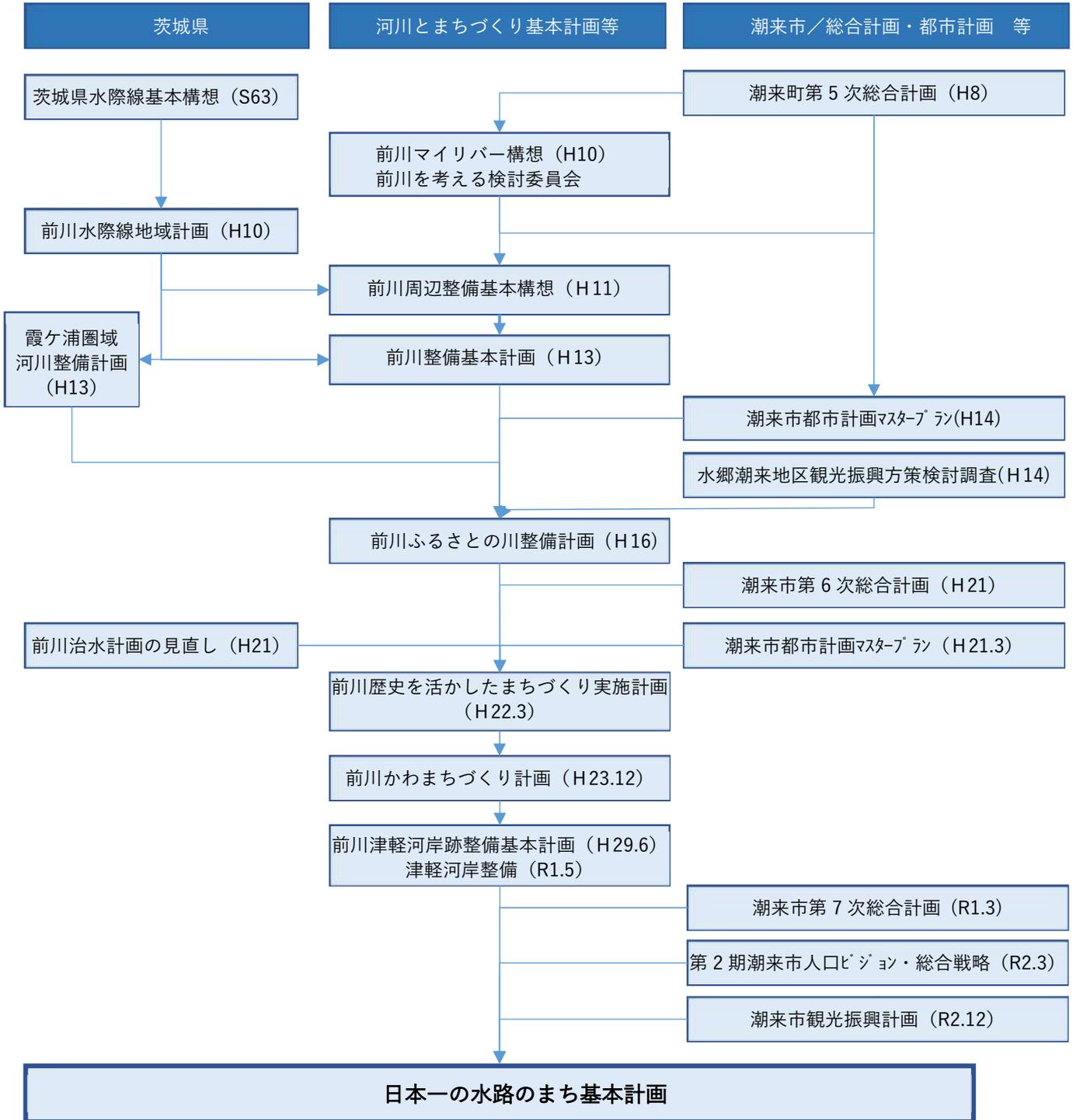


図 2 計画策定の経緯

(4) 「潮来市日本一の水路のまち基本計画」の構成

基本計画は、4章構成としています。現況等にかかる情報は現況資料編に収録しました。

序 計画の概要	1
I. 現況の整理	
I-1. 潮来市の状況	4
I-2. 水路の現況	7
I-3. 他地域にみる事例	46
I-4. 日本一の水路のまちの視点	47
II. 基本理念・方針及び全体計画	
II-1. 基本理念	48
II-2. 基本方針	55
II-3. 全体計画	56
III. 個別計画	68
III-1. 拠点の形成	69
・前川の河岸跡と船着場の整備／曲松下ボート・カヌー乗り場の整備／南幹線用水路の船着場の整備	
III-2. ネットワークの形成	84
・遊歩道の整備／舟運の拡大／水上スポーツとサイクルツーリズムによる新しい風景の創造	
III-3. まちの活性化	110
・潮来らしさを演出する景観の整備／あやめ園周辺の活性化／市街地の活性化／水質の浄化	
IV. 事業の推進に向けて	
IV-1. 事業の推進	131
IV-2. 今後の進め方	141

図 3 計画の構成

Ⅰ. 現況の整理

Ⅰ－1. 潮来市の状況

<自然・歴史>

潮来市は、常陸利根川をはじめ多様な水辺に囲まれ、前川が市街地を流れています。低地部には水田が広がり、水郷景観の基調をなすとともに、水辺の植生や農家の屋敷林などが水郷の風情をとどめています。また、恵まれた水辺に暮らす水生動物や鳥類及び魚類などに特徴が見られます。

大和朝廷の東国経営の進展に伴い国府石岡から鹿島神宮への通路にあたる板来の駅が設けられて以降、鎌倉時代から江戸時代まで交通の要所となった潮来は、水上交通の発達に伴い栄えてきました。江戸期の利根川東遷事業により江戸への主物資運搬の基地となりましたが、その後は東国三社詣等の経由地として水郷遊覧などで賑わう“あやめの潮来”として人気を得ました。文人墨客も多数訪れ庶民文学、絵画なども多く残されています。

明治期においては、潮来、牛堀、延方、津知、水原、釜谷等を経由する定期航路が開設されましたが、明治中期の常磐線開通により陸運が盛んになってから水運は一挙に衰退していきました。水郷地帯の河川や水路を行き交う小舟は、昭和10年代までは重要な交通手段として機能しましたが、こうした水上交通は、自動車の登場や水郷大橋の架橋により衰退していきました。

<人口>

潮来市の人口は、平成7年をピークに減少傾向にあります。世帯数は、増加傾向が続いていますが、世帯の小規模化が進み、更に今後も少子高齢化が進行すると推定されます。

<多様な地域資源>

潮来市の地域資源としては、水路・水辺に代表される特徴的な自然・地形と古代・中世・近代にわたる歴史があり、特に江戸期の水運と河岸文化及び水郷遊覧が積み重ねてきた文化的資産があります。潮来市の主な観光資源の「水郷潮来あやめ園」や「前川十二橋めぐり」は、水郷の文化・風情を楽しめる、潮来ならではの体験観光となっています。令和2年には、日本最初のナショナルサイクルルートの一つとして、つくば霞ヶ浦りんりんロードが認定されました。また、近年では水上スポーツの場として水路が利用されるなど、新しい資源としても活用されています。

<上位計画・関連計画等>

「潮来市第7次総合計画（R1.3）」をはじめ、潮来市では各種の行政計画が策定されています。その基本理念や政策の柱に、水郷潮来らしさが盛り込まれ、水路・水辺関係の施策が展開されています。

・潮来市の観光は、あやめ祭りのある6月に集中するなど、行事・催事やイベントの割合が高いことが特徴になっています。観光振興計画では、外国人観光客、高齢化社会を背景としたシニア層、旅行形態の変化による3世代（子育て世帯）をターゲットに定め、潮来固有の観光

性を活かした通年型観光への移行による観光入込客数 300 万人・外国人観光客宿泊数 10,000 泊を政策目標に掲げています。

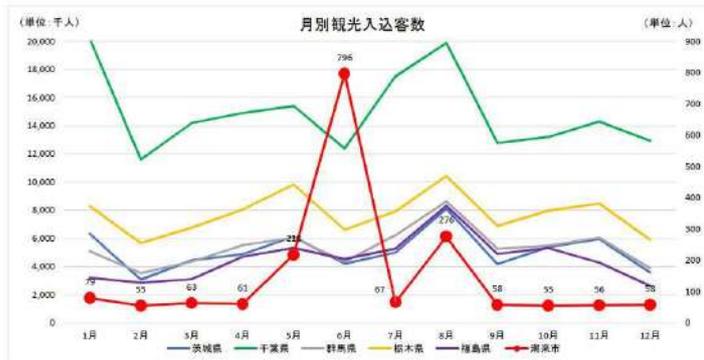


図 3 近隣県の月別観光の状況

出典: 潮来市観光振興基本計画 令和編

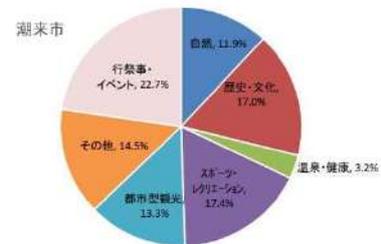


図 4 潮来市の観光動向

・潮来市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略では、遊びと食の魅力発信やポート教育の充実、観光資源の創出と観光情報の発信等を位置づけています。

・潮来市都市計画マスタープランでは、前川を軸とした水郷回遊軸と常陸利根川などからなる水辺回遊軸からなる将来都市構造が描かれています。潮来市の行政区域 7,140ha 全体が都市計画区域に指定されています。市街化区域は 748ha で前川にかかる市街化区域は、前川北側のアンコウ川河口より下流と同左岸天王橋より下流に限られています。

< 前川整備にかかる取り組み等 >

前川と延方南幹線水路の整備について、「治水」と「利水」の2つの視点からの取り組みが進められています。常に水害の危機にさらされたため治水は重要な課題であり、明治 20 年代から潮来、延方の築堤工事が始められてきました。

本計画の前身となる「前川かわまちづくり (H23)」ではあやめ園 (前川水門) から大洲閘門までを計画区間とし、具体的な施策が示されています。ハード施策では、河岸跡の再生整備、右岸回遊路整備、あやめ園のリニューアルをはじめ、景観やサイン、河川整備等に関する実施施策が示されています。ソフト施策では、イベント、環境学習、散策路の設定、防災対策に加え、水質浄化、道の駅いたこなど周辺施設との連携、新たな舟運コースの設定、沿川の街並み景観の改善、植栽・緑化の推進などが位置づけられています。

現在、治水では、一級河川前川改修事業により、水害被害軽減を目的とした前川中流部の拡幅と4つの市道橋 (出島橋、真菰橋、千石橋、上米橋) の架け替えを順次進めています。利水としては、直近では津軽河岸跡の石の蔵一帯が整備されました。

表 1 「前川かわまちづくり計画」における実施施策

実施施策	対象ゾーン	実施内容
1 まちづくり・観光振興	下・中流	河岸跡（大門・天王・津軽・仙台・上米河岸）再生整備
	下流	右岸回遊路整備
	下流	あやめ蓮のリニューアル
	中流	イタロウ茶屋及び周辺の整備
	全区間	前川橋梁の修繕整備
2 河川改修	下・中流	河岸跡親水護岸の整備
	下流	護岸・管理用通路の整備
	中流	河道拡幅・管理用通路の整備
3 施設の修繕	上流	大洲閘門の修復
4 バリアフリー	全区間	観光施設などのバリアフリー化

出典：前川かわまちづくり計画（H23）

実施施策	対象ゾーン	実施内容
1 イベント	全区間	水辺のコンサートの開催
		急釣り大会の開催
		散策・ウォーキング大会の開催
		イカダ競争・カヌー競争の開催
2 環境学習	全区間	自然観察会、生物観察会などの実施
		環境学習教材の小・中学校への配布
3 散策路	全区間	ウォーキングコース、サイクリングコースの設定
		いばらきヘルスロードの指定
4 防災	全区間	水防訓練の実施
		舟運を活用した防災対策の検討
5 水質浄化	全区間	植生による水質浄化
	下・中流	地下水の流れを利用した水質浄化対策の検討
	下流	石田川の水質浄化
	全区間	生活排水対策
	上流	人工浮島による水質浄化
6 観光	全区間	観光ボランティアの強化・拡大・育成
		外国人観光客へのPR（茨城空港等）
		土産や食事の提供施設、体験施設等の設置
7 周辺施設との連携	全区間	朝市・夕市の実施
		道の駅いたこなど、周辺施設との連携
8 舟運	全区間	新たな舟運コースの設定
9 広報	全区間	広報誌やホームページでの広報
10 景観	全区間	パンフレット等の作成・配布
		沿川の街並み景観の改善
11 植栽・緑化	全区間	沿川の低地にアヤメを植栽
		沿川に四季折々の草花、樹木を植栽
12 清掃・除草	全区間	地元やボランティア団体による清掃・除草



図 5 一級河川前川改修事業(計画図)



1-2. 水路の現況

本計画の主な対象となる前川、南幹線用水路及び常陸利根川（潮来大橋から米島閘門）に関して、6つの区間に分けて、水路の現況を整理しました。

<区間区分>

6つの区間に分けています。

- (1) 潮来大橋～出島橋（北利根川と前川）
- (2) 出島橋～稲井川河口付近（前川）
- (3) 稲井川河口付近～大洲閘門（前川）
- (4) 大洲閘門～福島橋（南幹線用水路）
- (5) 福島橋～米島閘門—その1（南幹線用水路）
- (6) 福島橋～米島閘門—その2（南幹線用水路）



<整理の項目>

区間ごとに、①水辺の緑化 ②水辺の構造 ③水辺への接近 ④道路の線形と幅員 ⑤地域資源 ⑥地域の問題に分けて図上で整理しました。

① 水辺の緑化

水辺の緑は、景観的な要素として重要で、視覚的な潤いを与え自然環境や生態系の生息域となります。

常陸利根川左岸と前川南側の桜並木(写真1)を軸として、前川北側の一部に柳とポプラ(写真2)の並木が見られます。花はあやめ園のあやめや沿川のアジサイが多く見られます。南用水路南側は自然河岸となっていて笹竹の繁茂が見られます。

沿川にお住まいの方々が庭や垣・柵の緑化に取り組む例(写真3)も見られます。



写真1 桜並木



写真2 ポプラ並木



写真3 水辺に植えられた花

② 水辺の構造

水辺の構造は、水害等への安全性の他、水辺の親水性の判断材料となります。

常陸利根川、前川、鰐川は原則として護岸整備が行われています。特に前川の護岸は木杭を模した化粧護岸(写真 4)となっています。潮来港(写真 5)、あやめ園、津軽河岸あと広場には岸壁や船着場があります。前川北側の稲井川河口付近から大洲閘門にかけて、階段護岸や緩傾斜護岸などの親水性の高い水辺(写真 6)が整備されており、ポートやカヌー・カヤック等の出艇が可能です。南幹線用水路は橋台部(橋のたもと)を除き護岸が未整備で、南側は自然堤防となっています。前川河口に水門、南幹線用水路の両端に大洲閘門と米島閘門が設置されています。



写真 4 擬木化粧された垂直護岸



写真 5 潮来港の岸壁



写真 6 稲井川河口付近の親水護岸

③ 水辺への接近（水辺の見える場所・感じられる場所）

日本一の水路のまちでは、どこからも水辺に接近できることが望ましいといえます。水を身近に見・感じることができる、水辺に沿って歩くことができる、水に触れたり水上を行きかうことができるといった点について「水辺への接近」と題してまとめました。

常陸利根川と鰐川は川沿いに道や堤防があって、水辺に近づくことができます(写真 7)。前川は、南側は水に近づきやすくなっています(写真 8)。前川北側、特に前川橋より西側の市街地に面する区間は水に近づける場所が限られます。前川橋から大洲閘門までは、南北側とも水に近づくことが可能です。南幹線用水路は、北側は水に接近可能(写真 9)で、南側は自然河畔により視界が遮られ近づくことができません。



写真 7 鰐川の水辺



写真 8 水郷潮来あやめ園の水際



写真 9 南幹線用水路の河川沿いの道

④ 道路の線形と幅員

川沿いのまち(市街地)の道路の線形や道路幅員からそのまちの成り立ちや道路の役割を知ることができます。歩道や交差点の有無、道沿いの緑や土地建物利用と組み合わせることで、まちの楽しみ方(回遊経路や楽しみの要素)を見つけることができます。

区画整理事業が完了した潮来港と JR 潮来駅の周辺は、区画整理事業により道路基盤が整備されています(写真 10)。前川の北側は、江戸時代以前の昔のまち割りを継承し

ており、蛇行した細街路が多く、まち歩きに適したまちのつくりとなっています(写真11・12)。前川の南側は、区画整理地区を除く前川南側と南幹線用水路の両側には農地が広がり、河川・水路に沿った道があるだけとなっています。



写真10 潮音橋の歩道



写真11 上米橋北側の辻



写真12 南幹線用水路沿いの道

⑤ 地域資源

地域ごとの自然・歴史・水辺の資源などをまとめます。

⑥ 地域の問題点

①水辺の緑化から⑤地域資源までを重ねながら、日本一の水路づくりの観点から気になる点や問題となる点をまとめます。第Ⅱ章の日本一の水路づくりの理念・方針等を受けて、第Ⅲ章以下に、具体化に向けた処方箋=計画をまとめます。

<トピックス 道路の線形や幅員から読み取れる、まち歩きのヒント>

○道路線形

緩やかに曲がった道や屈曲のある道は、その土地の地形やまちの歴史を受け継いでいることが多くあります。鍵型に曲がった道は、昔のまちの範囲を知る手がかりの一つで、馬や車の速度を下げさせたり、遠くからまちの様子が見えにくいようにするために作られたと言われます。道がまがっていることで、移動に伴って見えるまちの風景の変化(シーケンス)を楽しむことができます。

一方、真っ直ぐの道は、車や自転車の速度を上げることができ、効率的な土地の使い方ができる、比較的新しい道と考えられます。

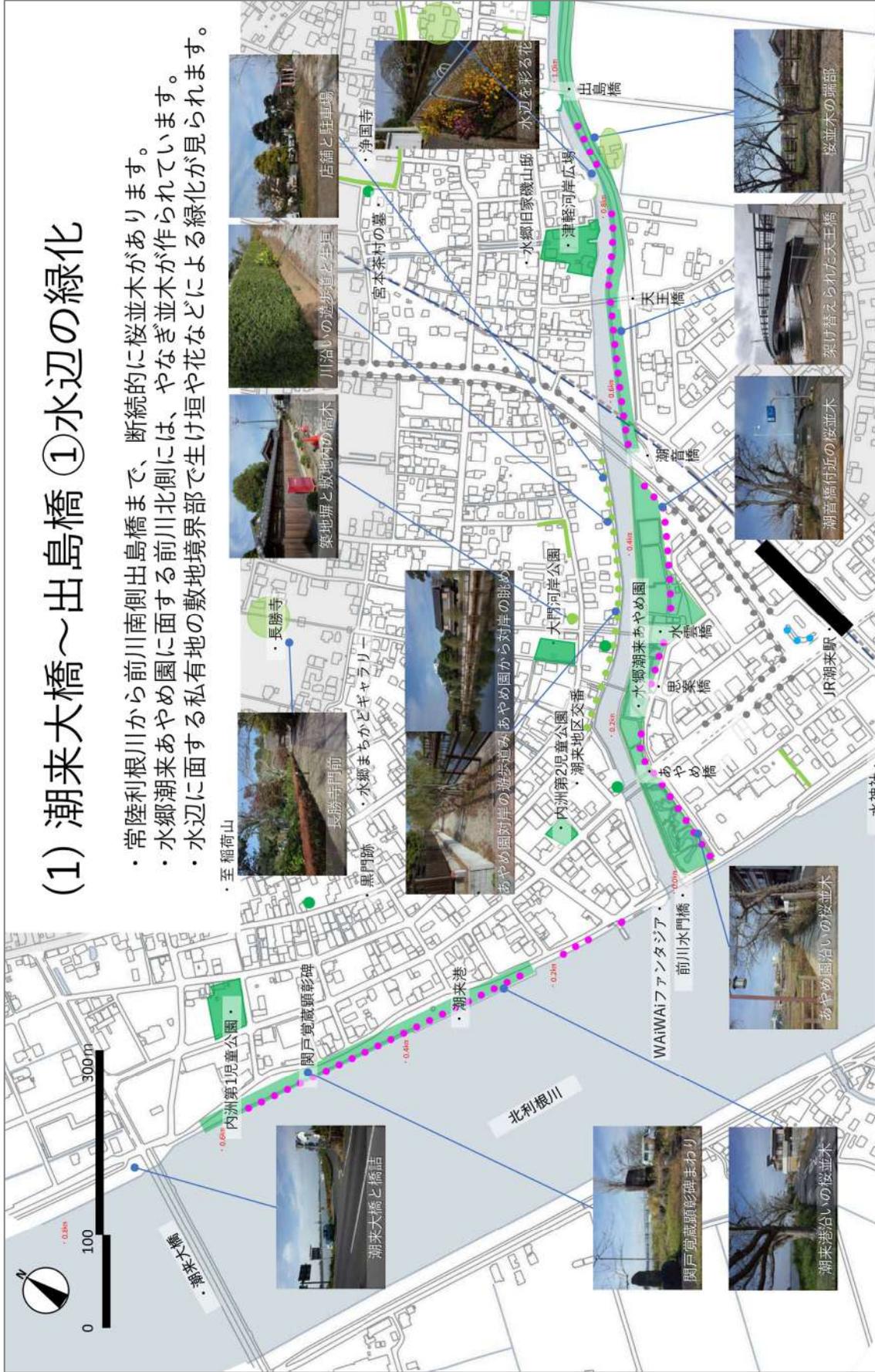
○道路幅員

- ・幅員 4 m未満 : 細街路や路地と呼ばれます。昔は幅員 1.8m、2.7m、3.6mの道が多く、前川筋にも残っています。軒先や庭先近くを歩く散策や回遊に適した、人が中心となる道の一つといえます。
- ・幅員 4-6m : 対面通行の道では車がすれ違う際に歩行者が避ける必要があります。一方通行の場合は歩行者の歩く空間が多少確保できます。歩車共存の道と言えます。車の侵入を制限したり速度を抑制することで、回遊に適した道にすることができます。
- ・幅員 6-8m : 対面通行の際にも歩行者が避ける必要は少なくなりますが、車の交通量の多い道では歩行者の快適性は高くありません。歩行者空間が十分に確保できるとは限らないため、コミュニティ道路と呼ばれる歩車共存の道にする例も見られます。
- ・幅員 8m以上 : 一般に歩道を設けることができ一定程度安全が確保されます(片側の場合あり)。一方、みちの両側を楽しみながら歩きたい場合は、車の通行による障害軽減するため、人と車の立体化や横断歩道を設けるなどの工夫が必要になります。

(1) 潮来大橋～出島橋 ①水辺の緑化

(1) 潮来大橋～出島橋 ①水辺の緑化

- ・常陸利根川から前川南側出島橋まで、断続的に桜並木があります。
- ・水郷潮来あやめ園に面する前川北側には、やなぎ並木が作られています。
- ・水辺に面する私有地の敷地境界部で生け垣や花などによる緑化が見られます。



	並木	緑地	生け垣・植栽	草地・裸地	笹竹等密生
公有地	● 桜 ● 柳 ● ポプラ ● 他	■ 公園等	■	■	■
民地	—	● 高木 ● 屋敷林等	■	■	■

凡例

※水面中の赤い数字は前川河口（前川水門）からのおよその距離

(1) 潮来大橋～出島橋 ②水辺の構造

(1)潮来大橋～出島橋 ②水辺の構造

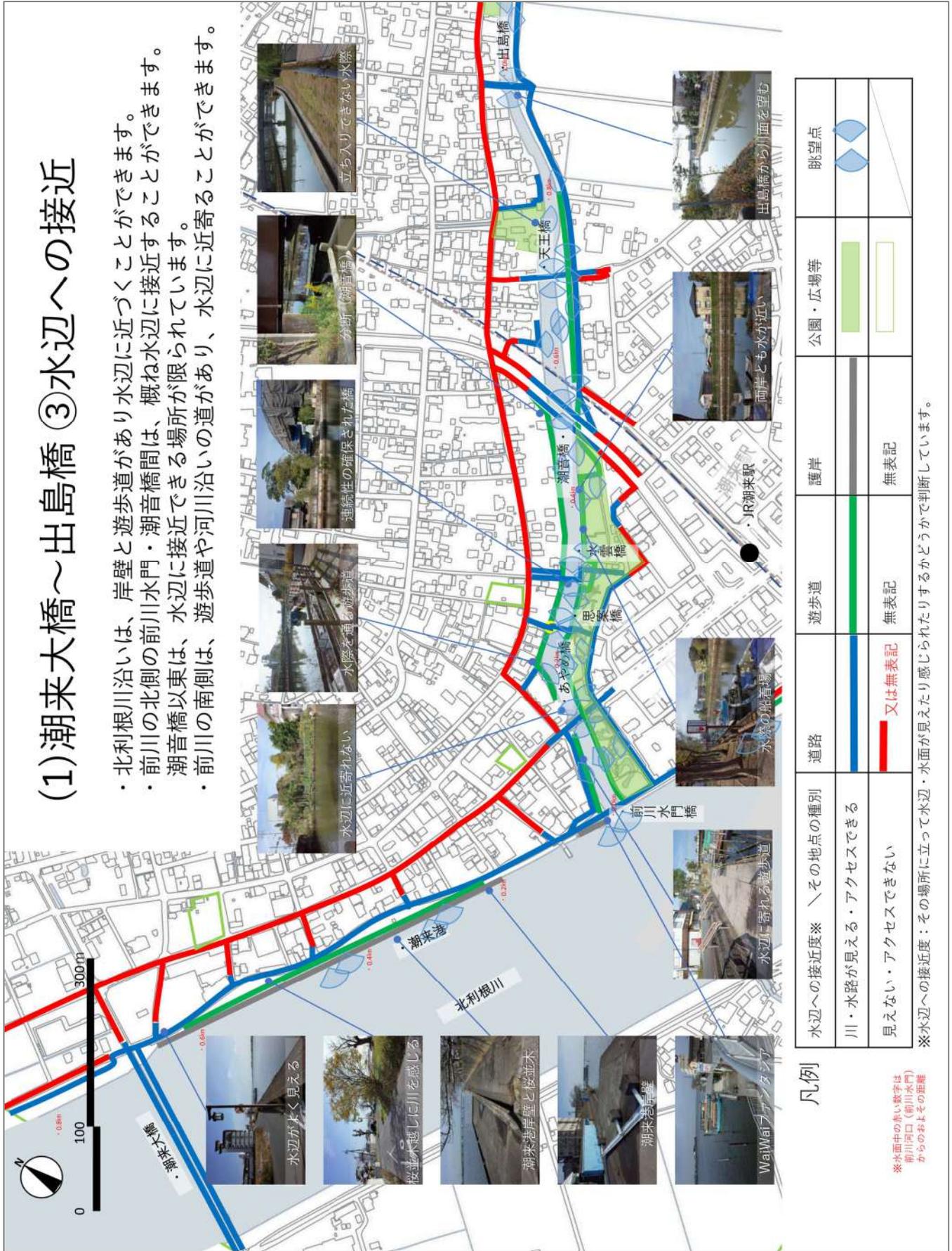
- ・常陸利根川と前川は、護岸が整備されています。潮来港は岸壁があり、船着場として利用されています。
- ・潮来大橋以北及び前川水門付近水神社南側は、堤防となっています。天端は遊歩道として利用されています。



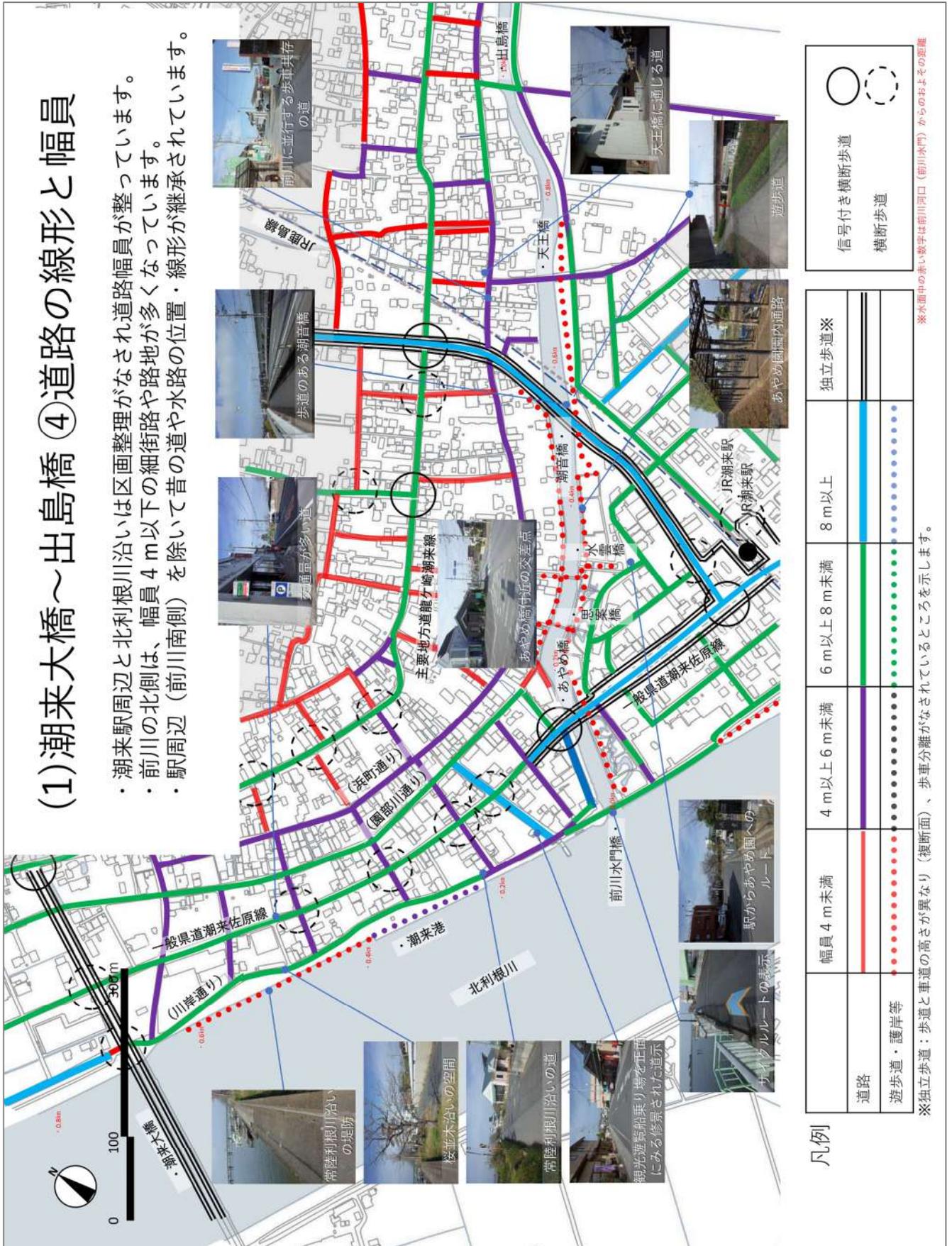
凡例	岸壁	堤防	垂直護岸	(縦) 傾斜護岸	自然堤防	親水護岸	その他構造物
水辺構造							橋梁・橋 ■ 水門・開門等

※水面中の黒い数字は前川河口（前川水門）からのおよその距離

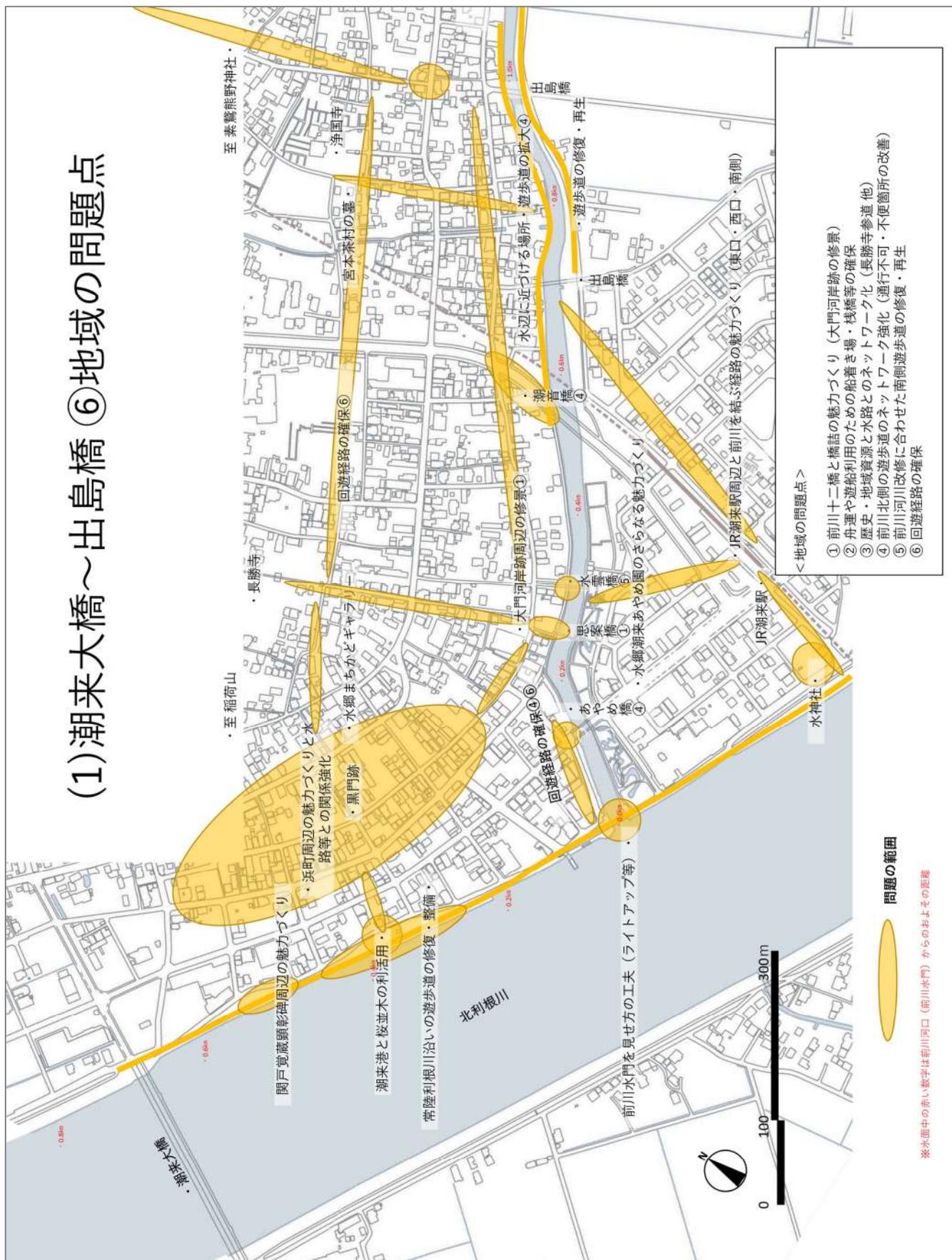
(1) 潮来大橋～出島橋 ③水辺への接近



(1) 潮来大橋～出島橋 ④道路の線形と幅員



(1) 潮来大橋～出島橋 ⑥地域の問題点



(2) 出島橋～稲井川河口付近 ①水辺の緑化

(2)出島橋～稲井川河口付近 ①水辺の緑化

- ・前川北側の橋詰や屋敷林で緑のまとまりが見られます。沿川に花植え（緑化）の取り組みが見られます。
- ・前川南側に桜並木がありますが一部に樹勢の衰えが見られます。



凡例

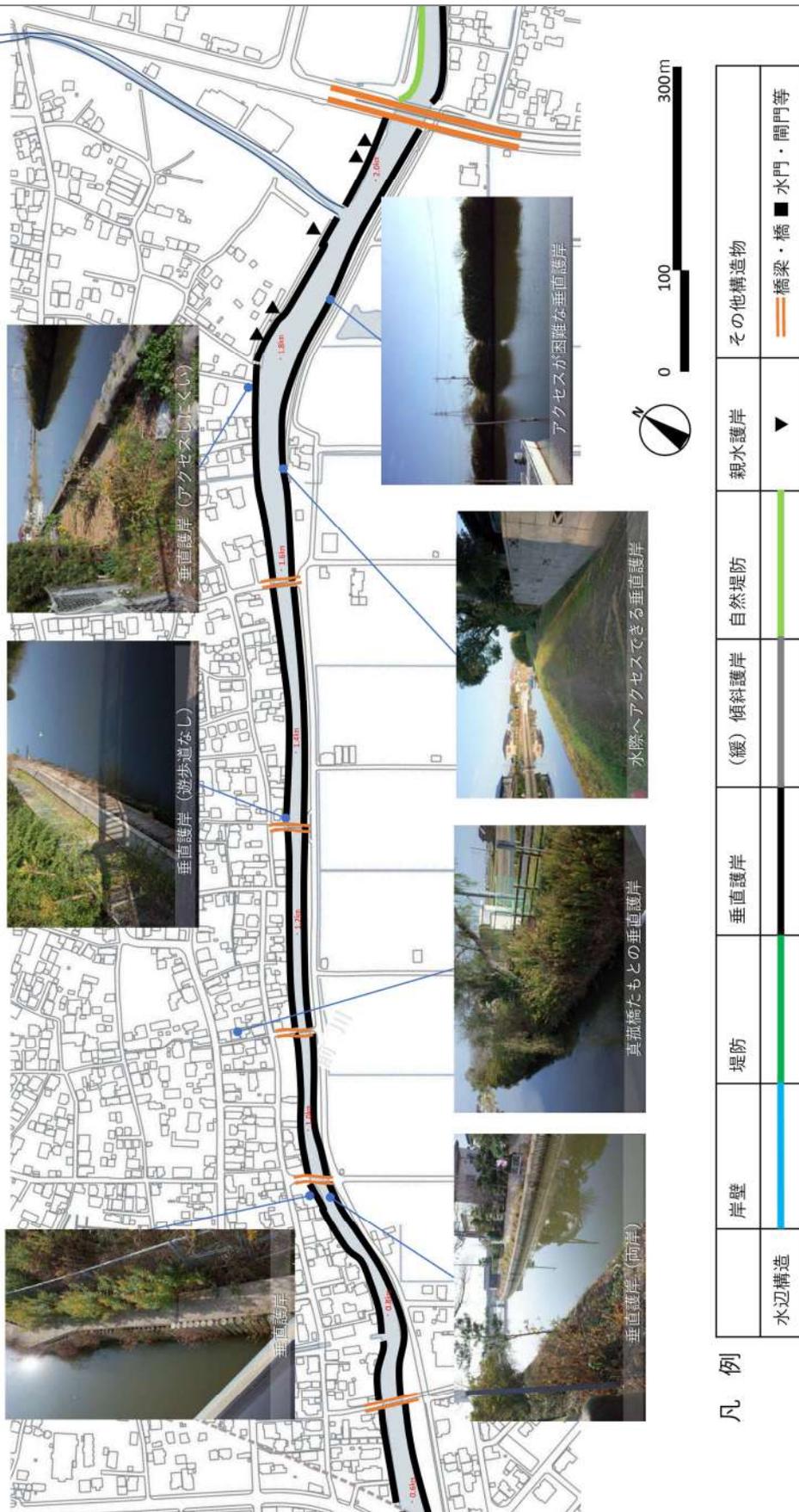
公有地	並木	緑地	生け垣・植栽	草地・裸地	笹竹等密生
民地	桜 柳 ポプラ 他	公園等 高木 屋敷林等			

※水面中の赤い数字は前川河口
(前川水門) からのおよその距離

(3) 出島橋～稲井川河口付近 ②水辺の構造

(2)出島橋～稲井川河口付近 ②水辺の構造

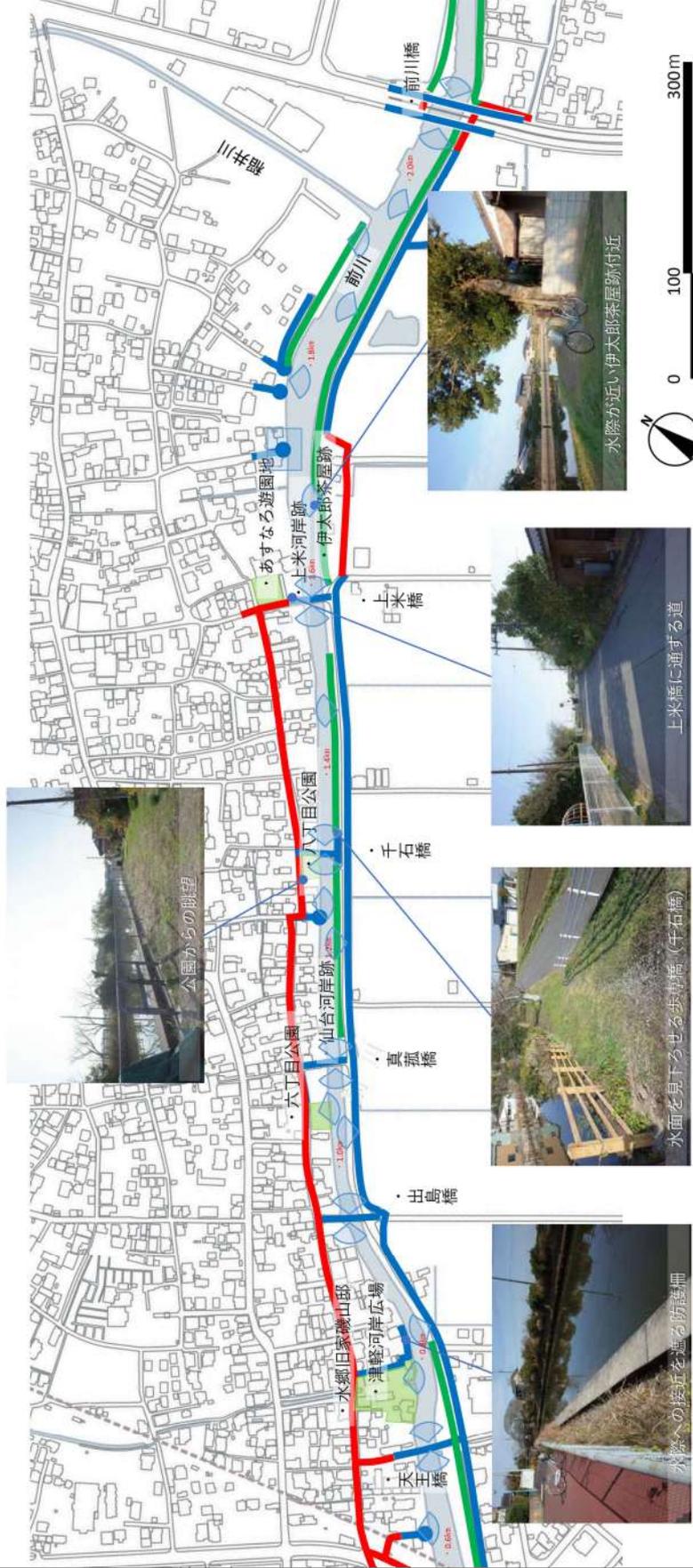
・前川北側・南側ともに木杭を模した化粧護岸となっています。



(2) 出島橋～稲井川河口付近 ③水辺への接近

(2)出島橋～稲井川河口付近 ③水辺への接近

- ・前川の北側で水辺に接近できる場所は、橋、津軽河岸あと広場や公園等に限られています。
- ・前川の南側に沿った道路や遊歩道から前川を見ることが出来ます。



凡例

水辺への接近度※	その地点の種別	道路	遊歩道	護岸	眺望点
川・水路が見える・アクセスできる					
見えない・アクセスできない			無表記	無表記	

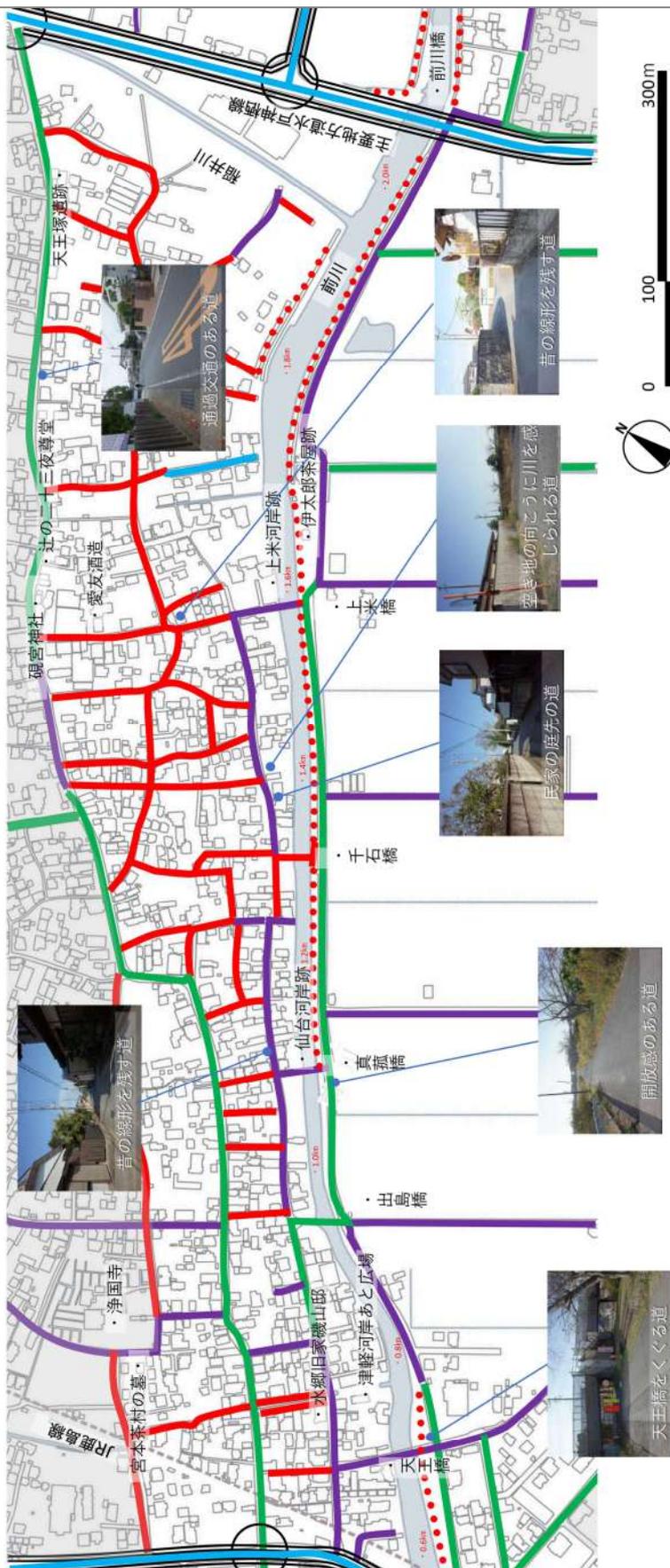
※水面中の高い数字は前川河口（前川水門）からのおよその距離

※水辺への接近度：その場所によって水辺・水面が見えたり感じられたりするかどうかで判断しています。

(2) 出島橋～稲井川河口付近 ④道路の線形と幅員

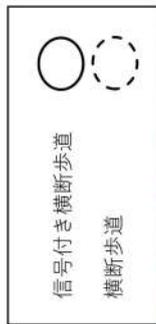
(2)出島橋～稲井川河口付近 ④道路の線形と幅員

- ・前川北側は、鉤形やゆるやかな曲線を描く昔からの線形を残した細街路や路地で構成されています。
- ・前川南側は、前川沿いの道が唯一の道で、生活道路となっています。



凡例

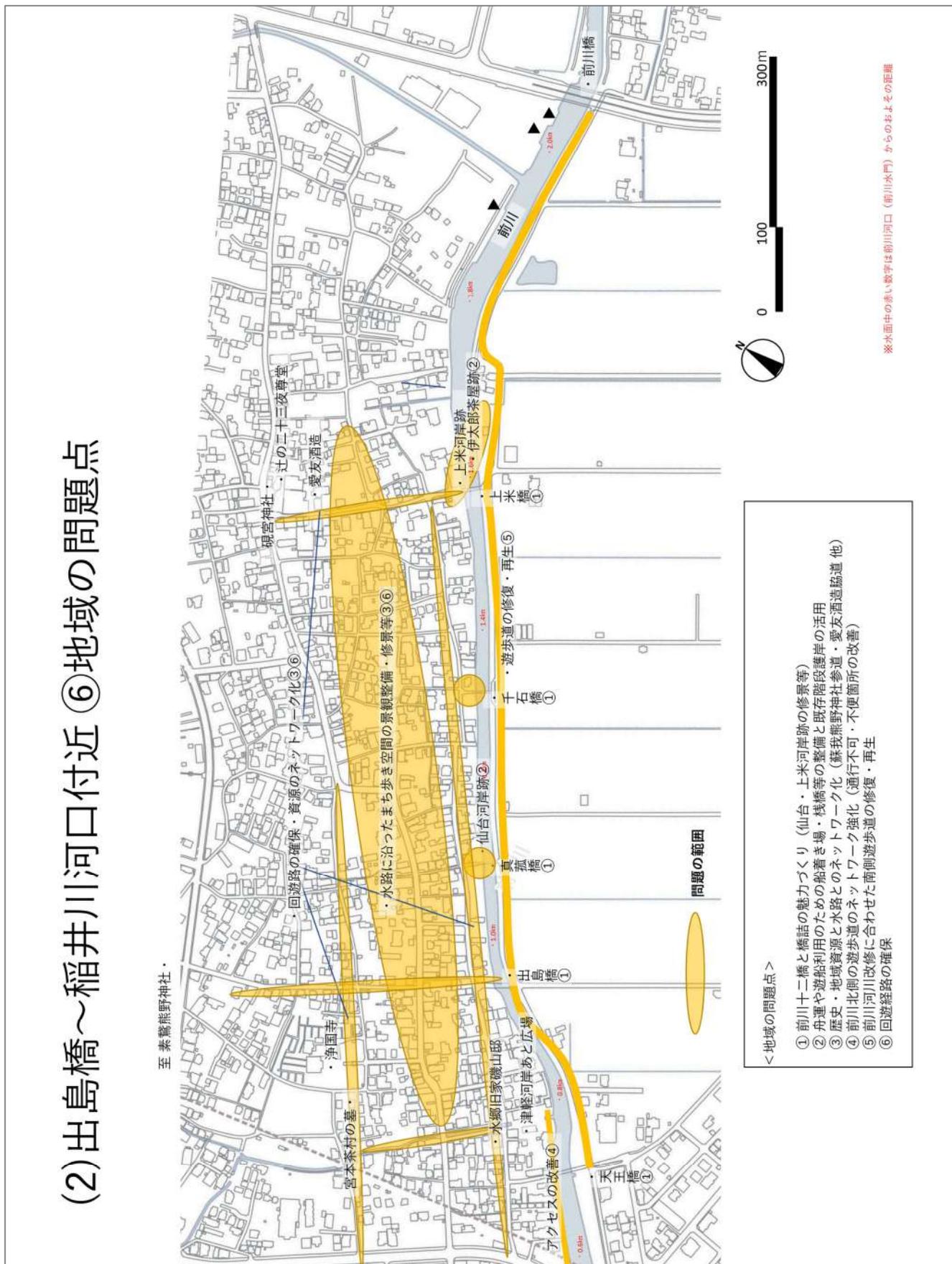
幅員 4 m 未満	幅員 4 m 未満	4 m 以上 6 m 未満	6 m 以上 8 m 未満	8 m 以上	独立歩道※
道路	幅員 4 m 未満	4 m 以上 6 m 未満	6 m 以上 8 m 未満	8 m 以上	独立歩道※
遊歩道・護岸等	幅員 4 m 未満	4 m 以上 6 m 未満	6 m 以上 8 m 未満	8 m 以上	独立歩道※



※独立歩道：歩道と車道の高さが異なり（複断面）、歩車分離がなされているところを示します。
※水面中の赤い数字は前川河口（前川水門）からのおよその距離

(2) 出島橋～稲井川河口付近 ⑥地域の問題点

(2)出島橋～稲井川河口付近 ⑥地域の問題点



- < 地域の問題点 >
- ① 前川十二橋と橋詰の魅力づくり（仙台・上米河岸跡の修景等）
 - ② 舟運や遊船利用のための船着き場・棧橋等の整備と既存階段護岸の活用
 - ③ 歴史・地域資源と水路とのネットワーク強化（蘇我熊野神社参道・愛友酒造協道 他）
 - ④ 前川北側の遊歩道のネットワーク強化（通行不可・不便箇所の改善）
 - ⑤ 前川河川改修に合わせた南側遊歩道の修復・再生
 - ⑥ 回遊経路の確保

(3) 稲井川河口付近～大洲閘門 ①水辺の緑化

- ・北側曲松集落近くにポプラの列植があります。北側の曲松南・須賀南集落内は、生け垣や庭木が多く見られます。
- ・南側には農地の緑がひらけ、沿川の屋敷林や生け垣の緑がアクセントになっています。
- ・潮来前川市民プール及び運動公園は、緑化がなされています。



凡例

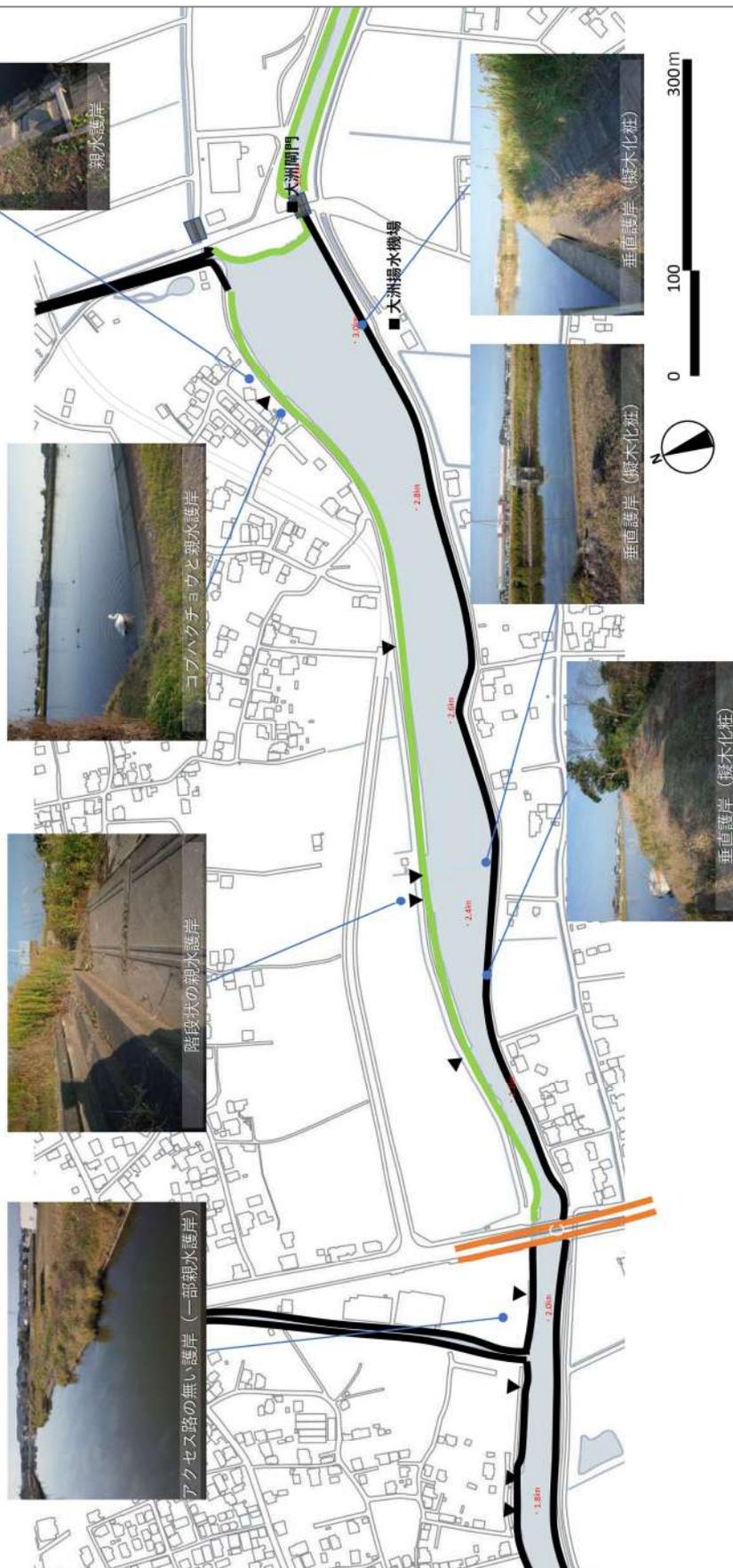
公有地	並木	緑地	生け垣・植栽	草地・裸地	笹竹等密生
民地	<ul style="list-style-type: none"> ● 桜 ● 柳 ● ポプラ ● 他 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公園等 ● 高木 ● 屋敷林等 			

※水面中の赤い数字は前川河口
(前川水門) からのおよその距離

(3) 稲井川河口付近～大洲閘門 ②水辺の構造

(3) 稲井川河口付近～大洲閘門 ②水辺の構造

- ・前川北側は自然河畔で木杭等による補強がされます。ポート等の漕ぎ出しがでできる場所が複数あります。
- ・前川南側は化粧護岸となっています。
- ・前川と南幹線用水路の接続部に大洲閘門が設置されています。



凡例

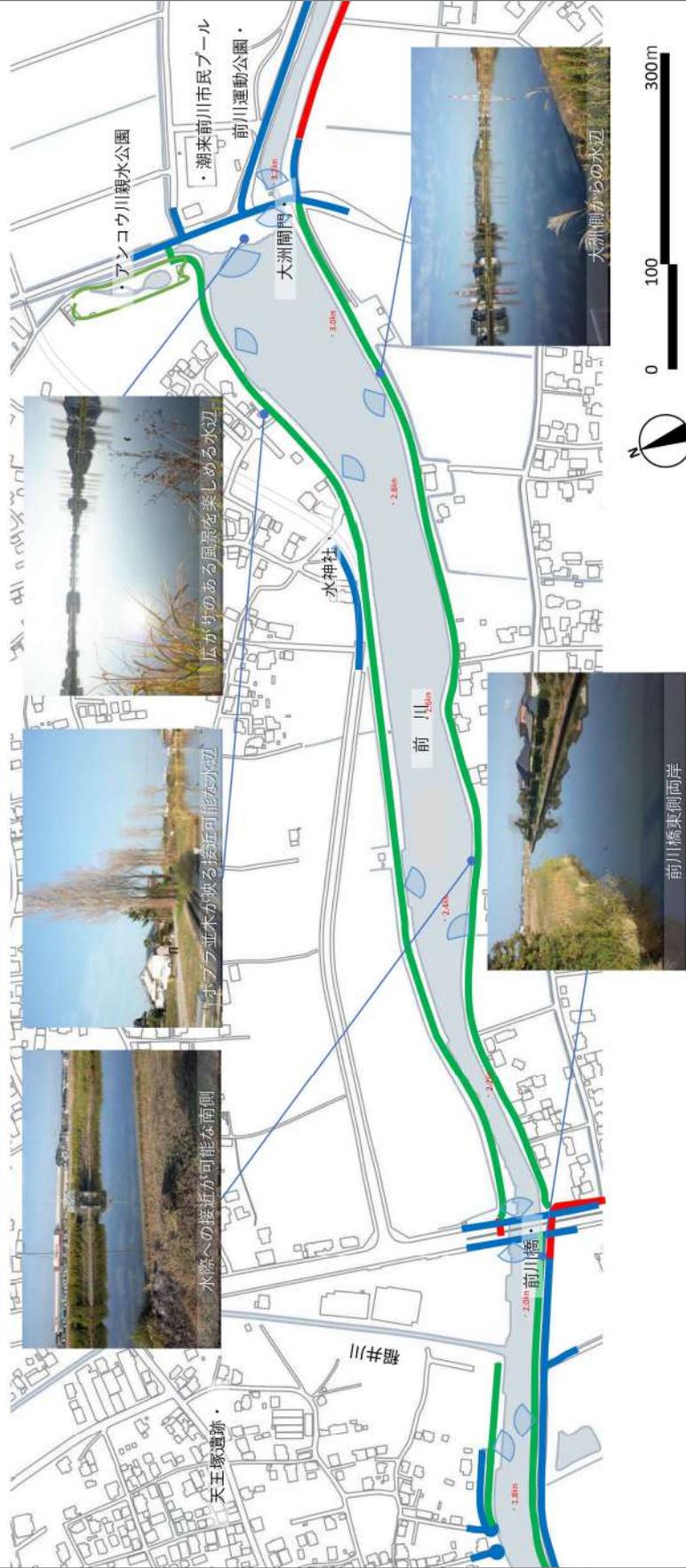
岸壁	堤防	垂直護岸	(緩) 傾斜護岸	自然堤防	親水護岸	その他構造物
水辺構造						橋梁・橋 水門・閘門等

※水面中の赤い数字は稲井川河口（前川河口）からのおよその距離

(3) 稲井川河口付近～大洲閘門 ③水辺への接近

(3)稲井川河口付近～大洲閘門 ③水辺への接近

- ・前川橋～大洲閘門間の前川南北側はいずれも遊歩道になっており、水辺に接近しやすくなっています。潮来前川市民プール西側は、大水面が楽しめる場があります。
- ・前川橋以西の南側は、前川沿いに遊歩道があります。



水辺への接近度※ \ その地点の種別	道路	遊歩道	護岸	眺望点
川・水路が見える・アクセスできる				
見えない・アクセスできない		無表記	無表記	

凡例

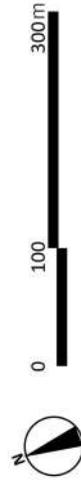
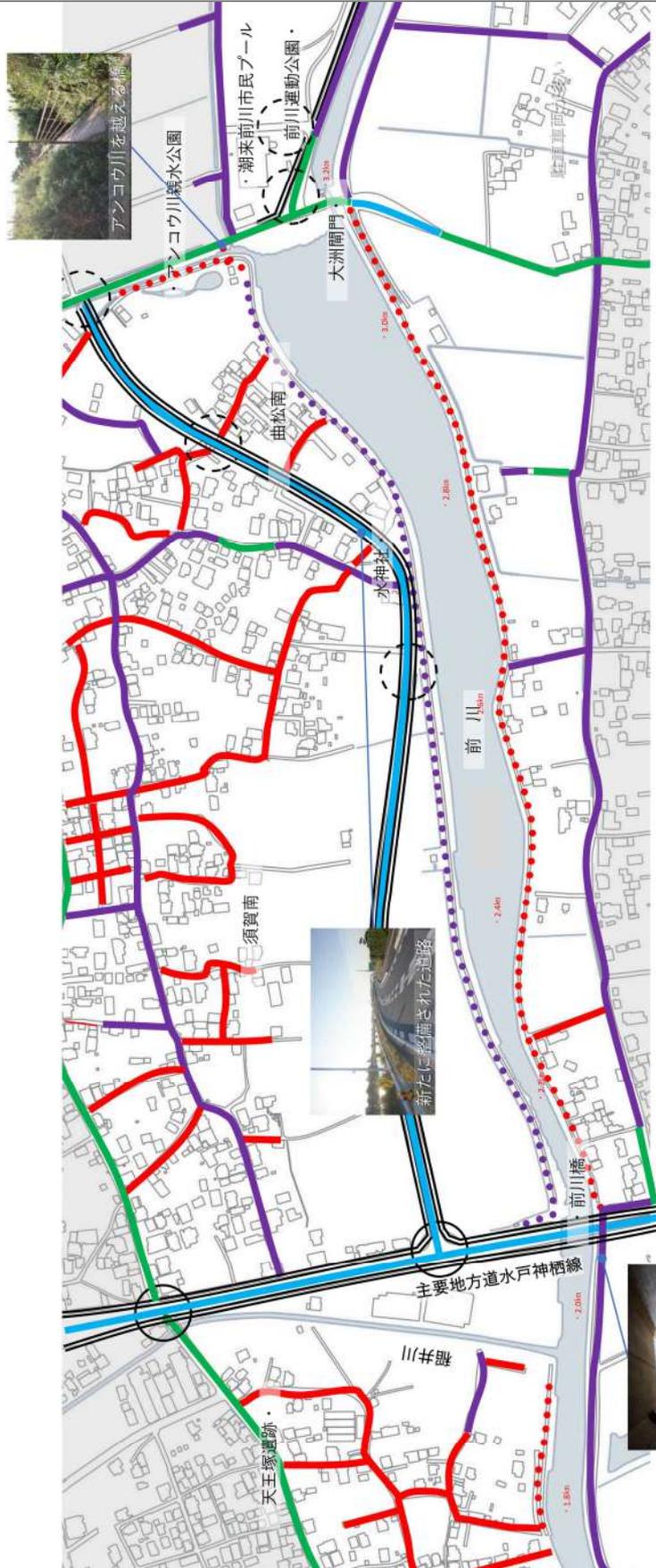
※水面中の赤い数字は前川河口（前川水門）からのおよその距離

※水辺への接近度：その場所に立って水辺・水面が見えたり感じられたりするかどうかで判断しています。

(3) 稲井川河口付近～大洲閘門 ④道路の線形と幅員

(3) 稲井川河口付近～大洲閘門 ④道路の線形と幅員

- ・ 主要地方道水戸神栖線及び前川北側に整備された街区道路が骨格となっている反面、地区の分断要素にもなっています。
- ・ 前川南側約100mの距離にある大洲集落があり、北側に生活道路（旧水路）が接しています。
- ・ 曲松南、須賀南は、昔からの線形を残す細街路（路地）が多い状況です。。



○	信号付き横断歩道
⊖	横断歩道

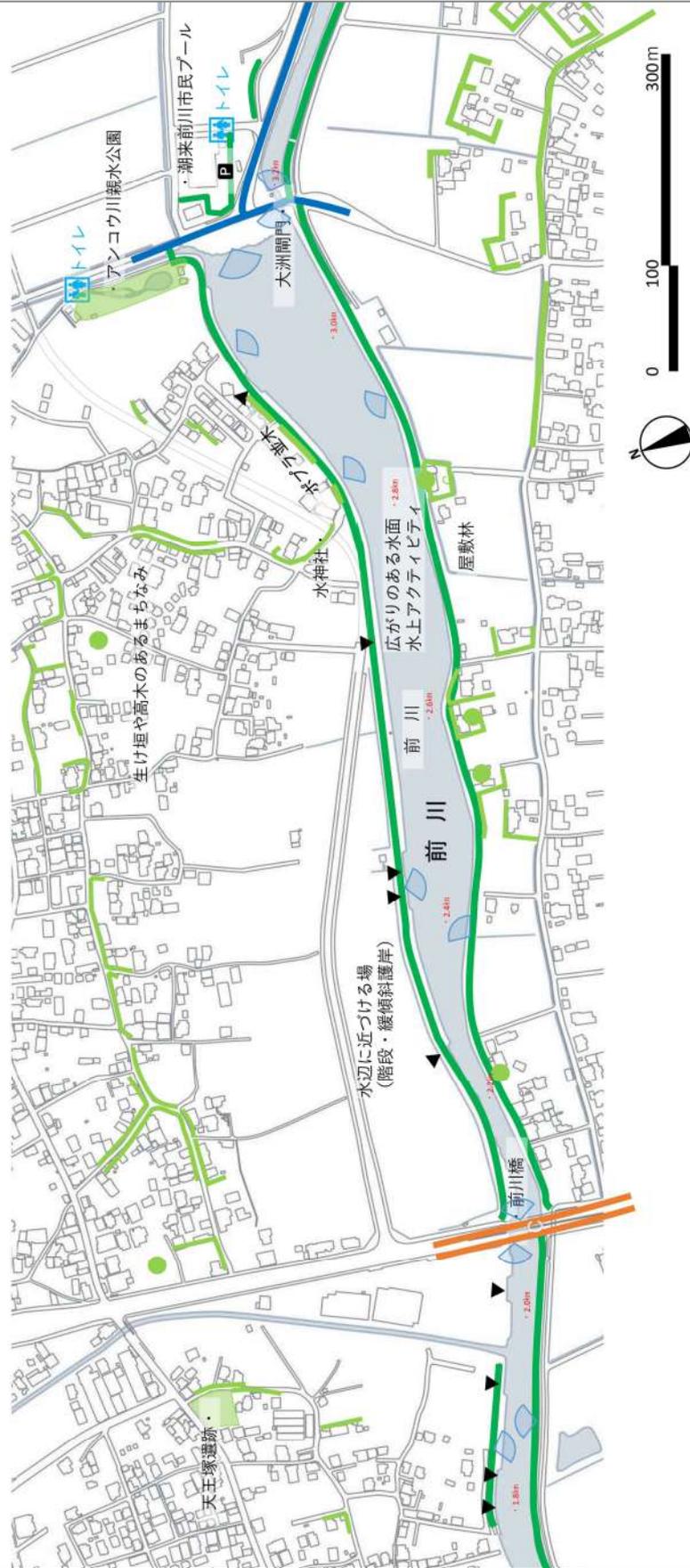
独立歩道※	8 m以上	6 m以上 8 m未満	4 m以上 6 m未満	幅員 4 m未満	道路	遊歩道・護岸等
	⋯⋯⋯	⋯⋯⋯	⋯⋯⋯	⋯⋯⋯	⋯⋯⋯	⋯⋯⋯

凡例

※水面中の赤い数字は前川河口（稲井川門）からのおよその距離

(3) 稲井川河口付近～大洲閘門 ⑤地域資源

(3)稲井川河口付近～大洲閘門 ⑤地域資源

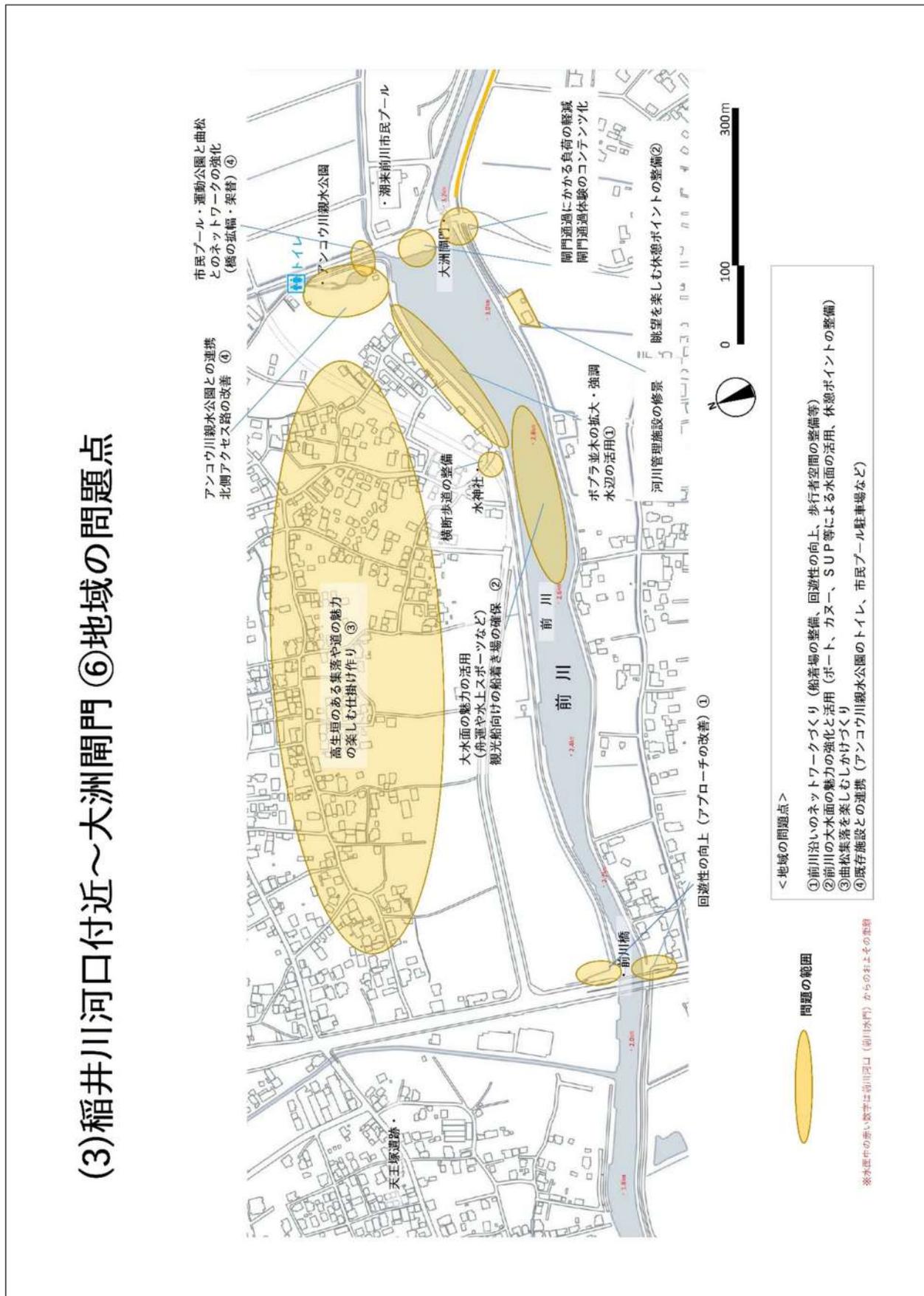


凡例

- 遊歩道
- 並木
- 生垣・緑
- 橋
- 公園
- 眺望点
- ☒ 駐車場
- ☒ トイレ
- その他 (個別に記述)

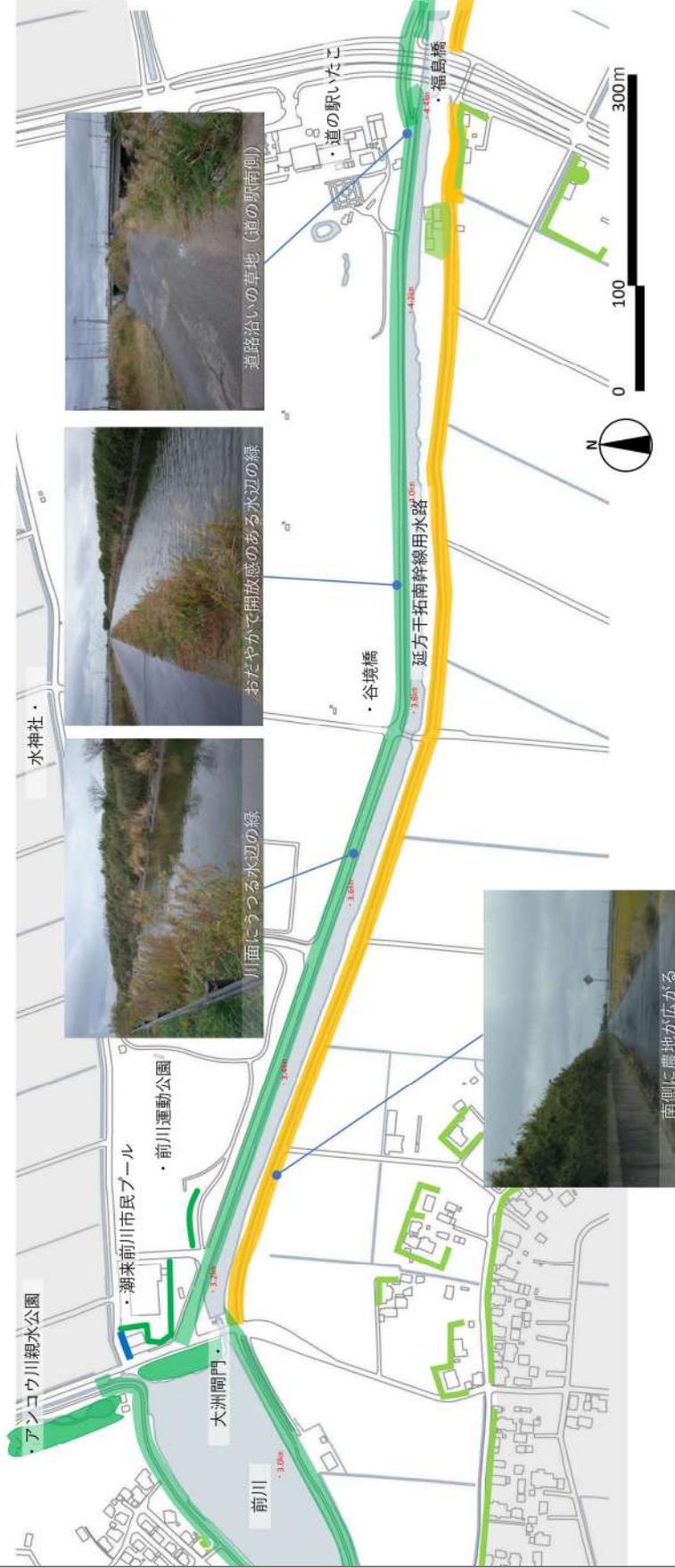
※水面中の赤い数字は前川河口 (前川水門) からのおよその距離

(3) 稲井川河口付近～大洲閘門 ⑥地域の問題点



(4)大洲閘門～福島橋 ①水辺の緑化

- ・南幹線用水路の北側は農地の緑が広がっており視界がひらけています。
- ・南側は、護岸復旧工事により桜並木が復活されます。
- ・大洲集落の北側や個々の敷地の多くは生け垣や屋敷林等を形成しています。



凡例

公有地	並木	緑地	生け垣・植栽	草・裸地	笹竹等密生
民地	桜 柳 ポプラ 他	公園等 高木			

※水面中の赤い数字は前川河口（前川水門）からのおよその距離

(4) 大洲閘門～福島橋 ②水辺の構造

(4)大洲閘門～福島橋 ②水辺の構造

・南幹線用水路は護岸ブロックが施工されています。



凡例

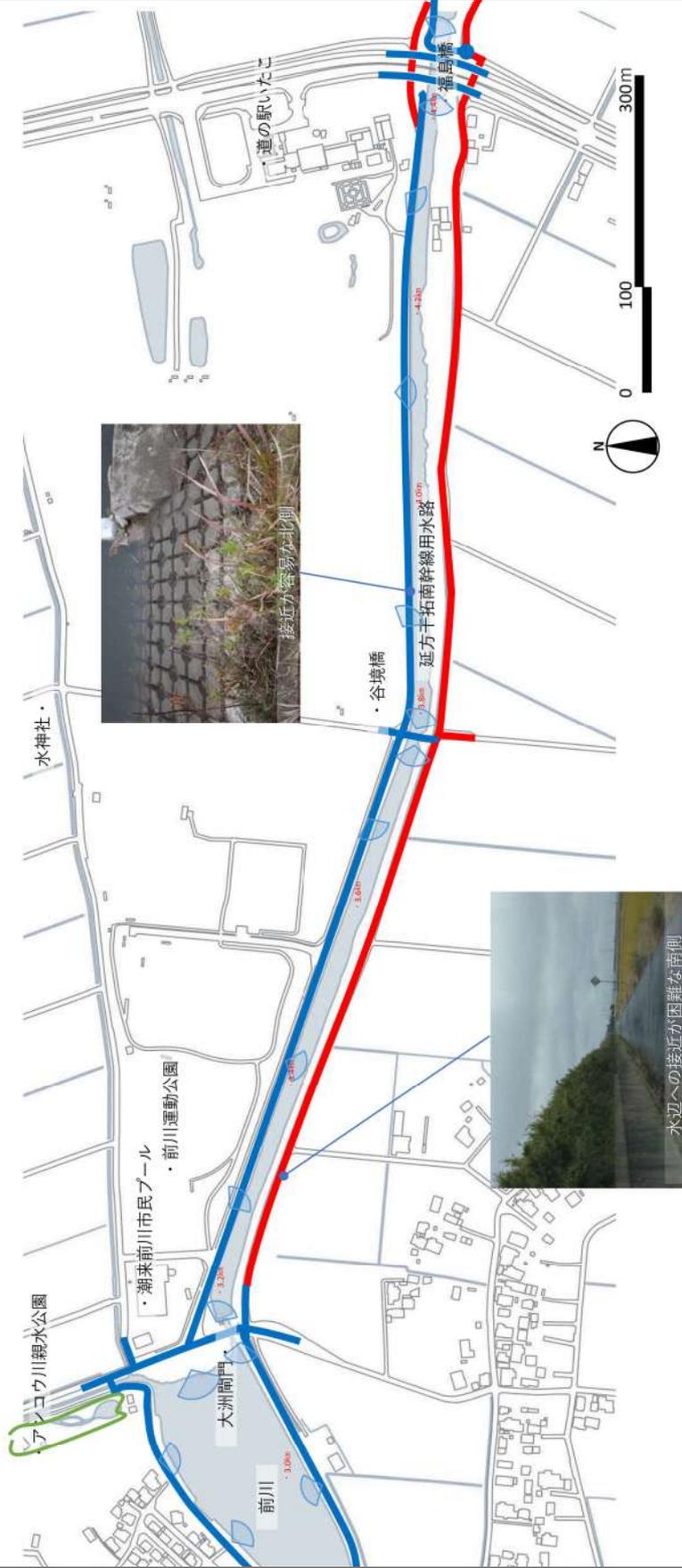
岸壁	堤防	垂直護岸	(緩) 傾斜護岸	自然堤防	親水護岸	その他構造物
水辺構造					▼	— 橋梁・橋 ■ 水門・閘門等

※水面中の赤い数字は筋川河口（筋川水門）からのおよその距離

(4) 大洲閘門～福島橋 ③水辺への接近

(4)大洲閘門～福島橋 ③水辺への接近

- ・南幹線水路の北側は水辺に寄ることができ、視界が高い（接近性が高い）。
- ・南側は、水辺に接近することができず、視界も遮られています。



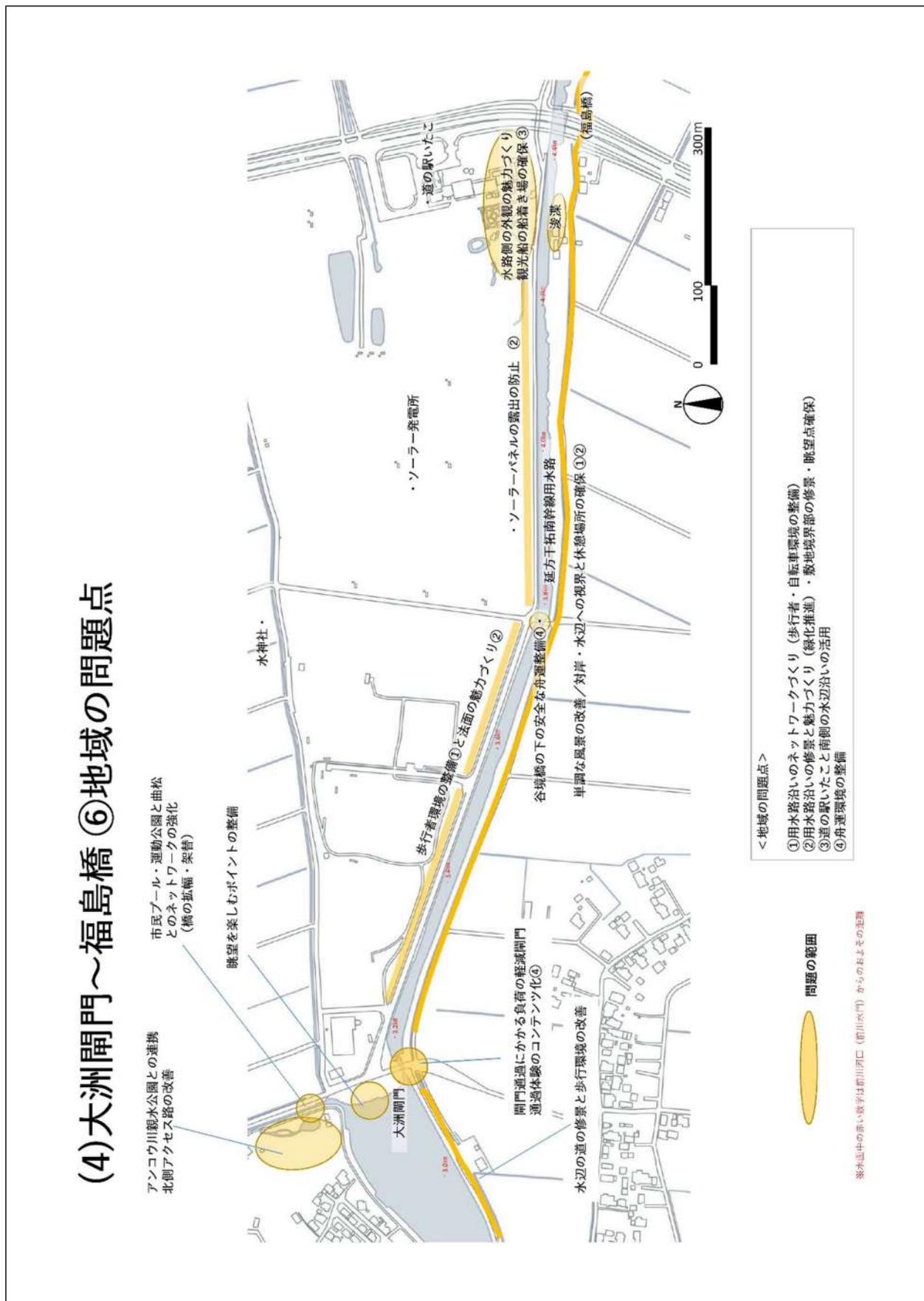
凡例

水辺への接近度※ \ その地点の種別	道路	遊歩道	護岸	公園・広場等	眺望点
川・水路が見える・アクセスできる					
見えない・アクセスできない		無表記	無表記		

※水面中の赤い数字は前川河口（即川水門）からのおよその距離

※水辺への接近度：その場所に見えたり感じられたりするかどうかで判断しています。

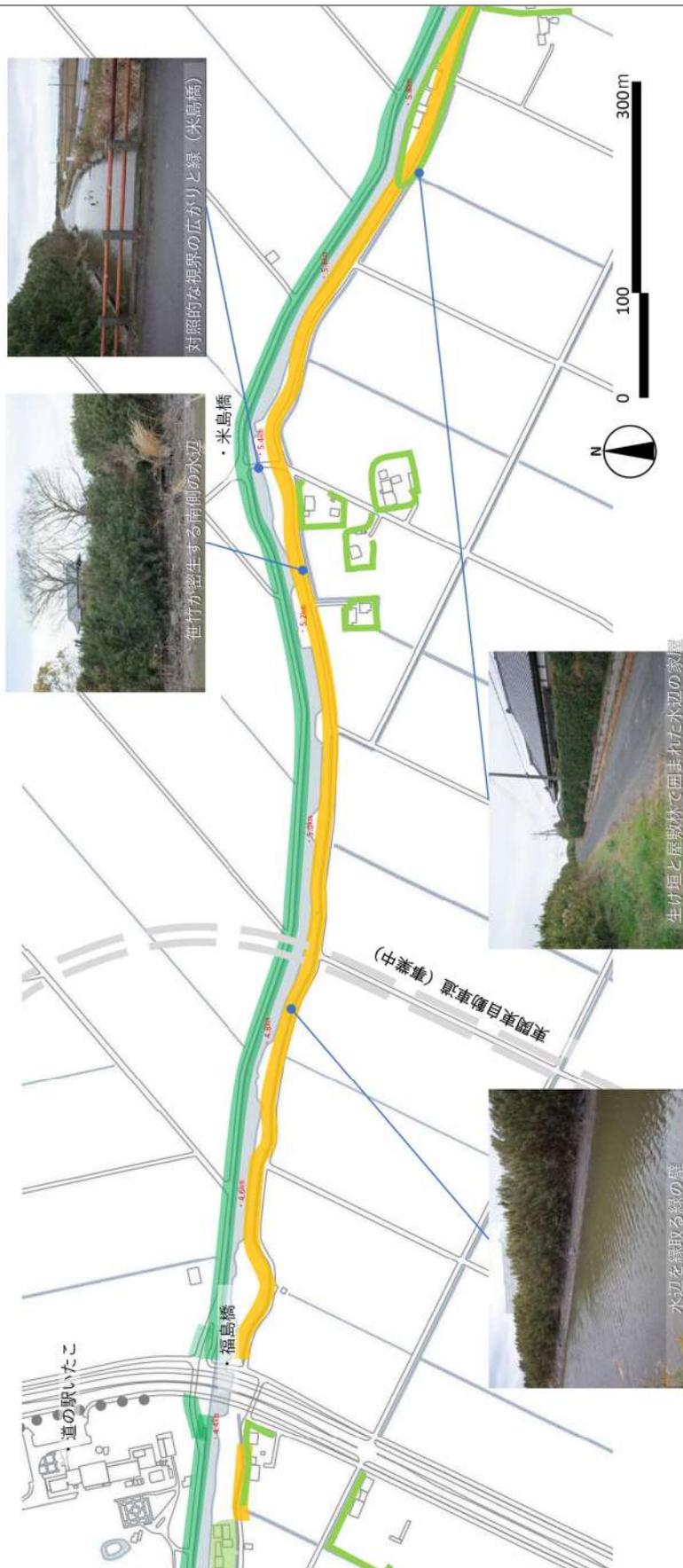
(4) 大洲閘門～福島橋 ⑥地域の問題点



(5) 福島橋～米島閘門—その1 ①水辺の緑化

(5)福島橋～米島閘門—その1 ①水辺の緑化

- ・南幹線用水路の北側は農地の緑が広がっており視界がひらけています。
- ・南側は笹竹が繁茂し自然堤防の名残を残しています。緑の壁をつくり、視界とアクセスの障害となっています。



凡例

	並木	緑地	生け垣・植栽	草地・裸地	笹竹等密生
公有地	● 桜 ● 柳 ● ポプラ ● 他	■ 公園等	■	■	■
民地	—	● 高木 ■ 屋敷林等	■	■	■

※水道中の赤い数字は前川河口
(前川水門) からのおよその距離

(5) 福島橋～米島閘門—その1 ②水辺の構造

(5)福島橋～米島閘門—その1 ②水辺の構造

- ・南幹線用水路の北側は護岸ブロックが施工されています。
- ・南側は、自然河畔（堤防）となっています。



凡例

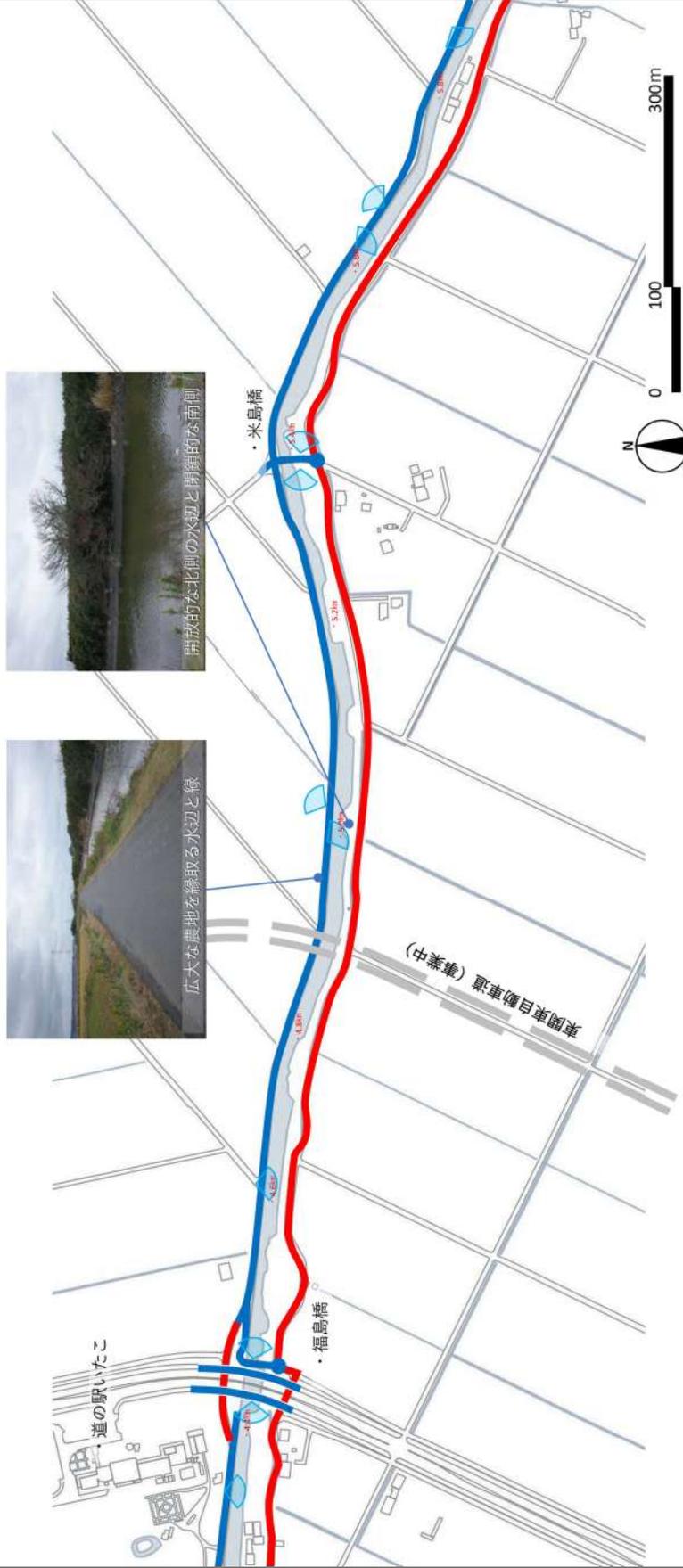
岸壁	堤防	垂直護岸	(緩) 傾斜護岸	自然堤防	親水護岸	その他構造物
水辺構造						橋梁・橋 ■ 水門・閘門等

※水面中の赤い数字は前川河口（前川水門）からのおよその距離

(5) 福島橋～米島閘門—その1 ③水辺への接近

(5)福島橋～米島閘門—その1 ③水辺への接近

- ・南幹線用水路の北側は水辺に寄ることができます（接近性が高い）。
- ・南側は、水辺に接近することができず、視界も遮られています。



凡例

水辺への接近度※ \ その地点の種別	道路	遊歩道	護岸	公園・広場等	眺望点
川・水路が見える・アクセスできる					
見えない・アクセスできない		無表記	無表記		

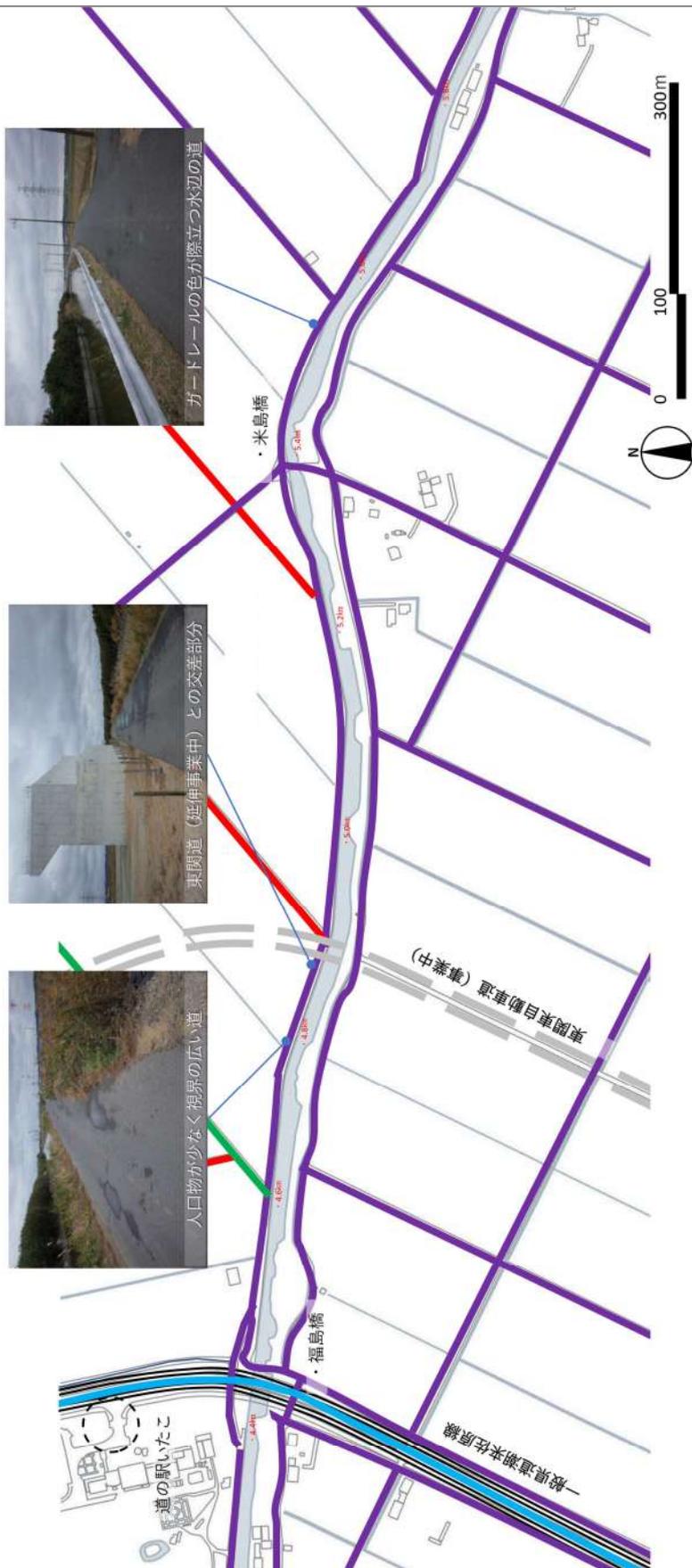
※水辺への接近度：その場所に立って水辺・水面が見えたり感じられたりするかどうかで判断しています。

※水面中の赤い数字は
前川河口（前川水門）
からのおよその距離

(5) 福島橋～米島閘門—その1 ④道路の線形と幅員

(5)福島橋～米島閘門—その1 ④道路の線形と幅員

・南幹線用水路の北側・南側に沿って、それぞれに幅員4～6mの道路が通っています。



凡例

幅員4m未満	4m以上6m未満	6m以上8m未満	8m以上	独立歩道※
道路	遊歩道・護岸等			

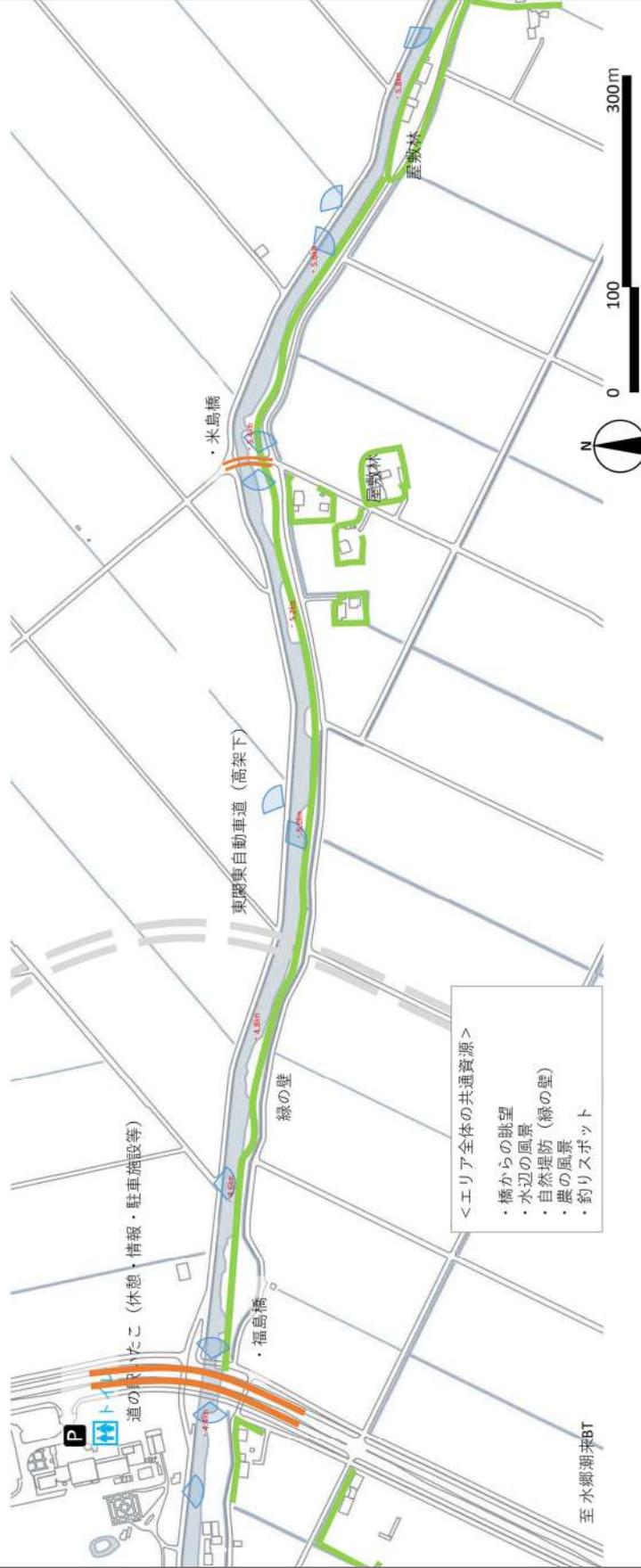
○	○
信号付き横断歩道	横断歩道

※独立歩道：歩道と車道の高さが異なり（複断面）、歩車分離がなされているところを示します。

※水通中の赤い数字は前川河口（前川氷門）からのおよその距離

(5) 福島橋～米島閘門—その1 ⑥地域資源

(5)福島橋～米島閘門—その1 ⑤地域資源



<エリア全体の共通資源>
 ・橋からの眺望
 ・水辺の風景
 ・自然堤防(緑の壁)
 ・農の風景
 ・釣リスポット

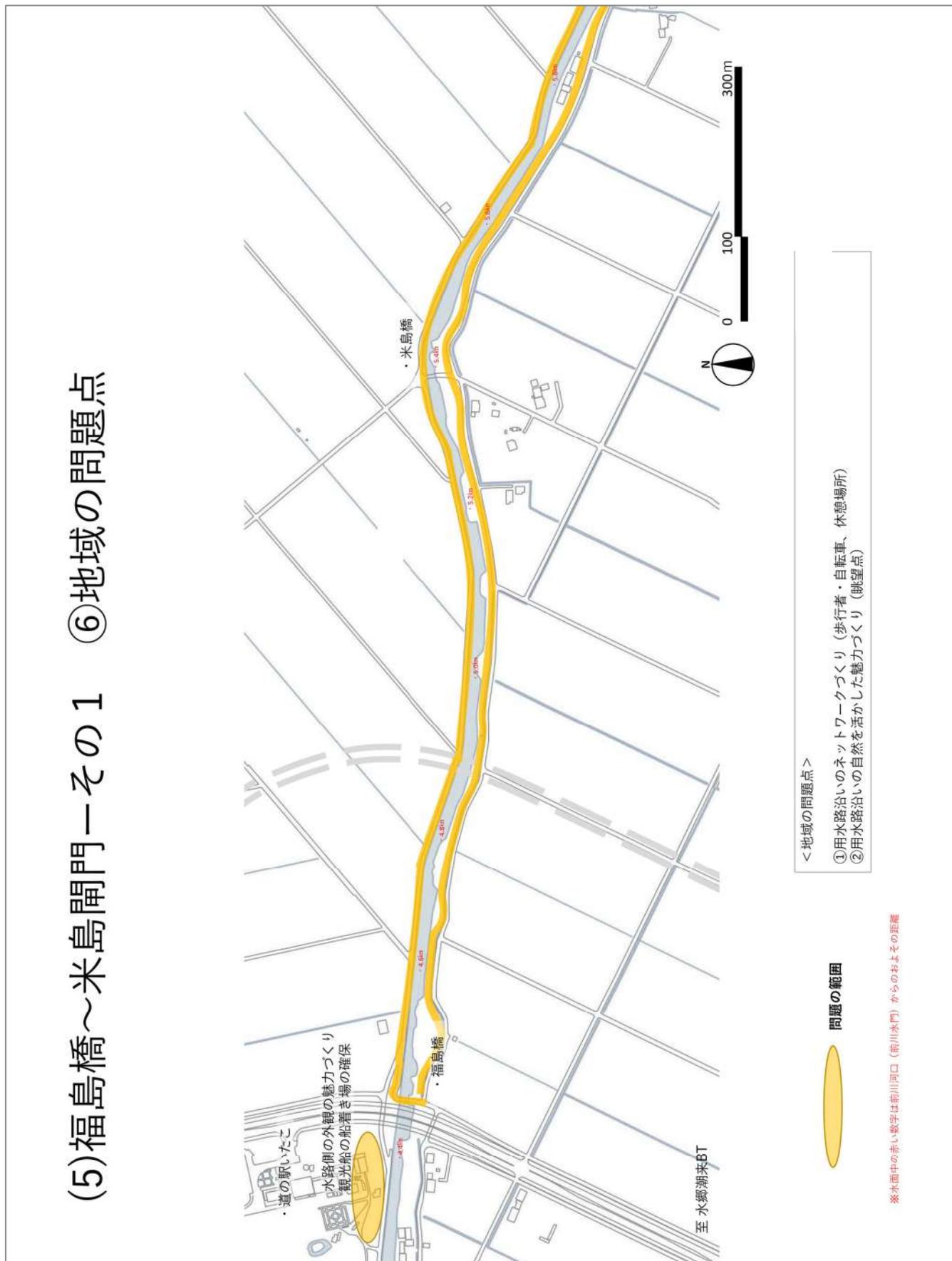
凡例

- 遊歩道
- 並木
- 生垣・緑
- 橋
- 眺望点
- ☒ トイレ
- ☒ 駐車場
- その他 (個別に記述)

※水面中の赤い数字は前川河口(新川水門)からのおよその距離

(5) 福島橋～米島閘門—その1 ⑥地域の問題点

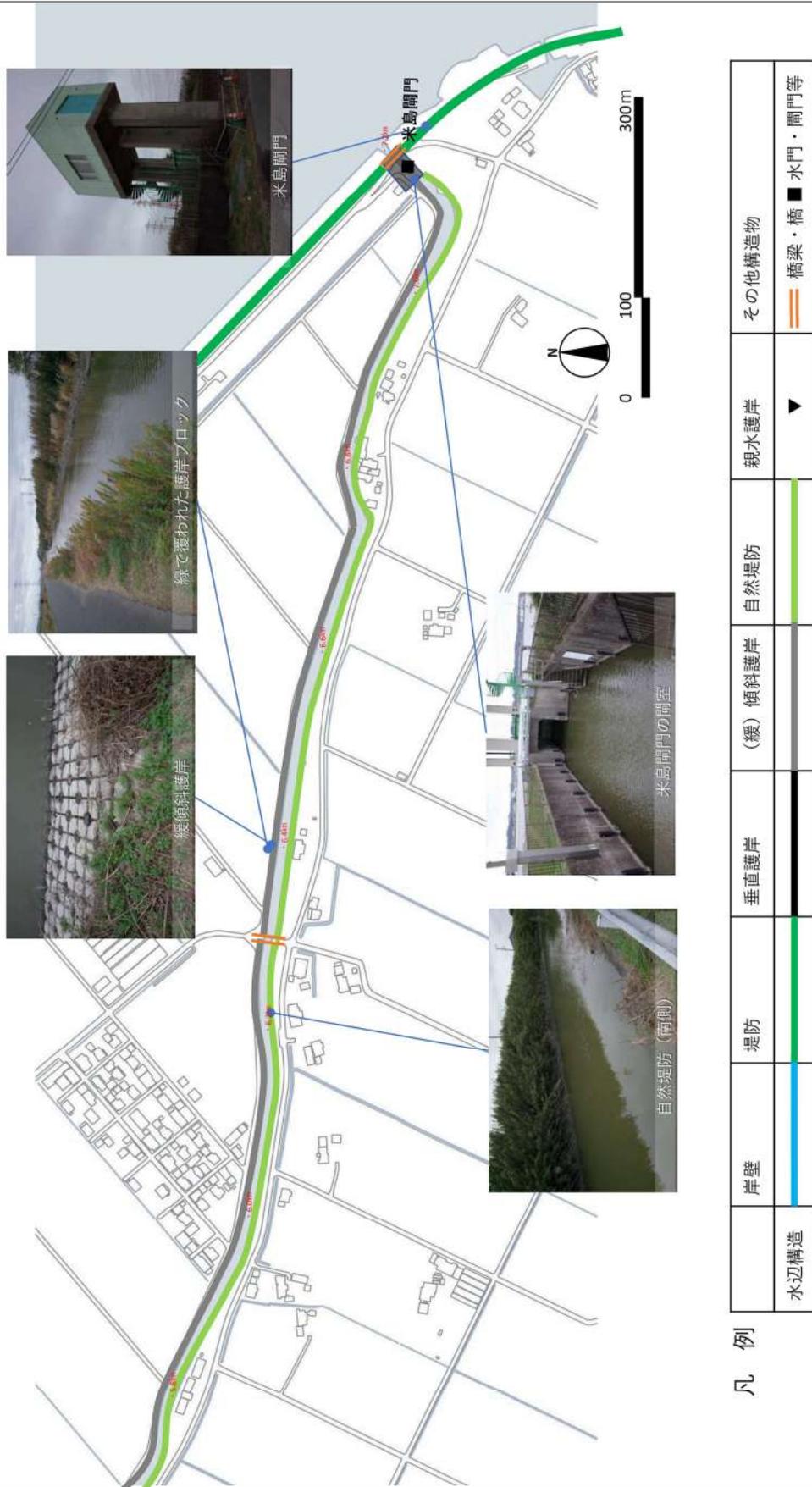
(5)福島橋～米島閘門—その1 ⑥地域の問題点



(6) 福島橋～米島閘門—その2 ②水辺の構造

(6) 福島橋～米島閘門—その2 ②水辺の構造

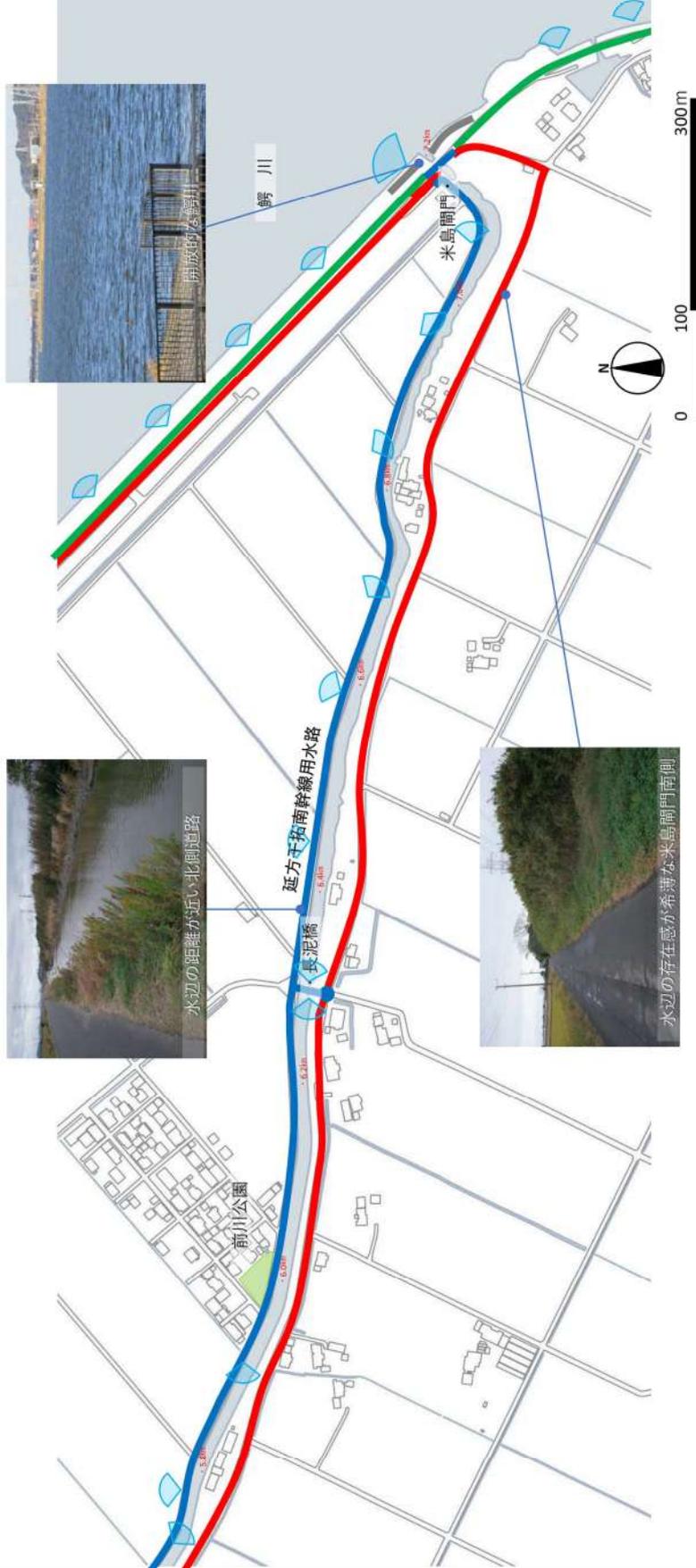
- ・南幹線用水路の北側は護岸ブロックが施工されています。
- ・南側は、自然河畔（堤防）となっています。
- ・鰐川に面して米島閘門が設置されています。



(6) 福島橋～米島閘門—その2 ③水辺への接近

(6)福島橋～米島閘門—その2 ③水辺への接近

- ・南幹線水路の北側は水辺に寄ることができません。また北側に広がる農地への視界も確保されています。
- ・南側は、水辺に接近することができます。視界も遮られています。



凡例

水辺への接近度※ \ その地点の種別	道路	遊歩道	護岸	公園・広場等	眺望点
川・水路が見える・アクセスできる					
見えない・アクセスできない		又は無表記	無表記		

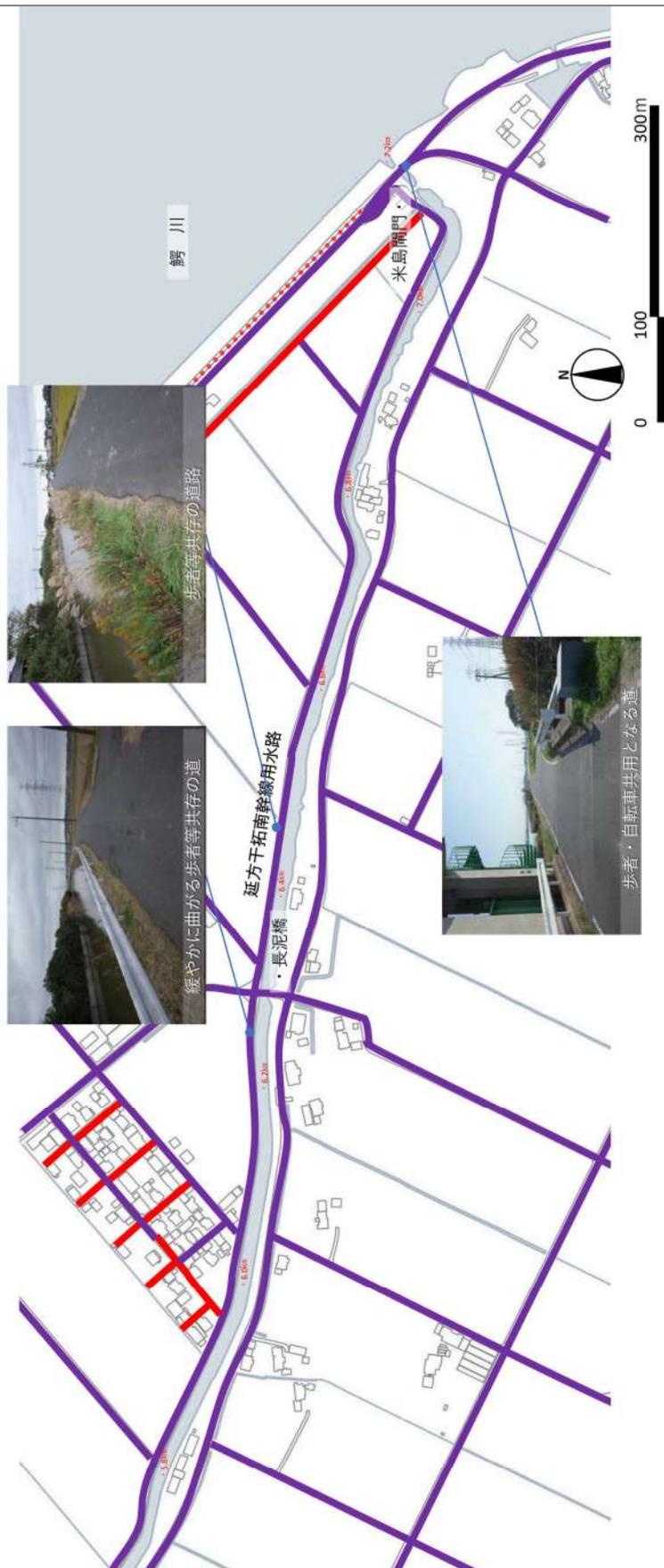
※水面中の赤い数字は
前川河口（前川水門）
からのおよその距離

※水辺への接近度：その場所に立って水辺・水面が見えたり感じられたりするかどうかで判断しています。

(6) 福島橋～米島閘門—その2 ④道路の線形と幅員

(6)福島橋～米島閘門—その2 ④道路の線形と幅員

- ・南幹線用水路の北側・南側に沿って、それぞれに幅員4～6mの道路が通っています。
- ・鰐川に沿う幅員4～6mの道路は、米島閘門以北は堤防内に、以南は堤防天端を通っています。米島閘門以北の堤防天端は、遊歩道となっています。



凡例

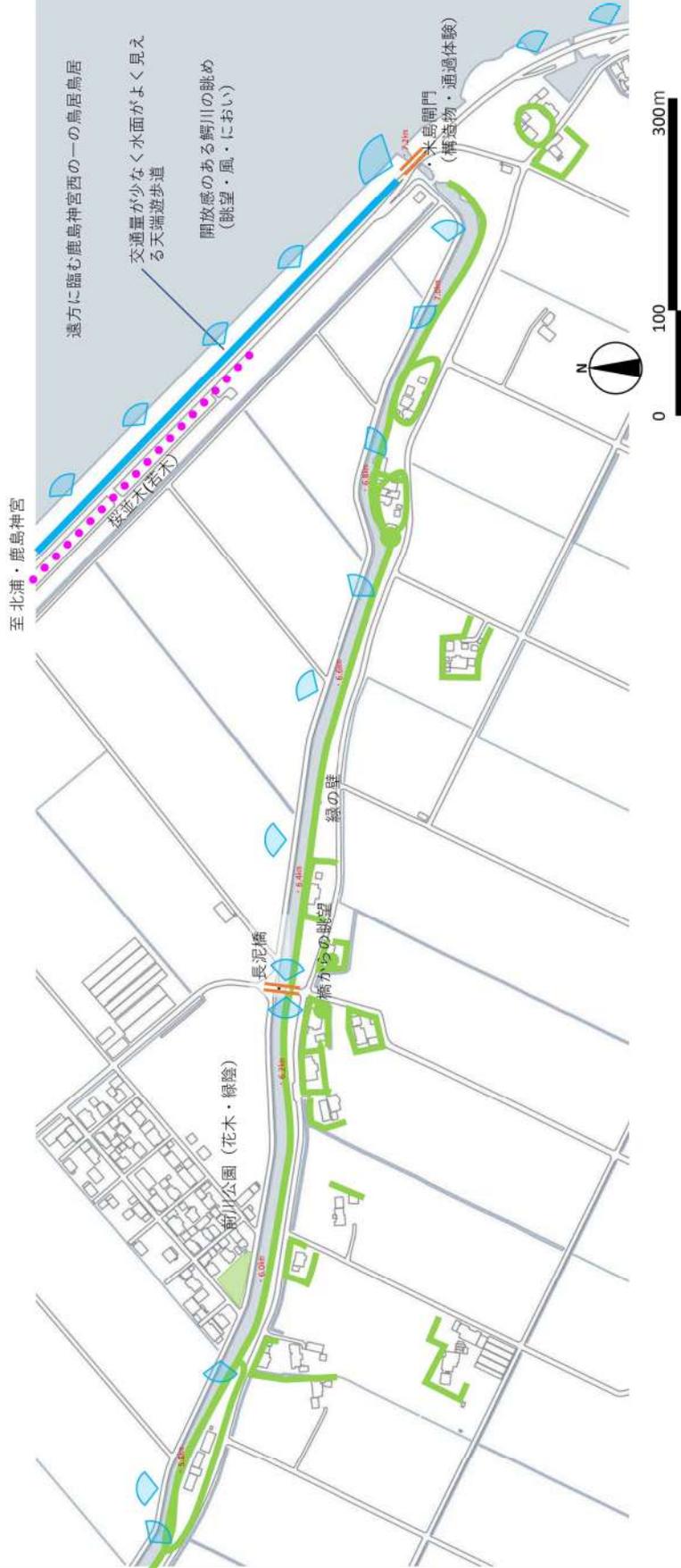
幅員 4 m 未満	4 m 以上 6 m 未満	6 m 以上 8 m 未満	8 m 以上	独立歩道※
道路				
遊歩道・護岸等				

※独立歩道：歩道と車道の高さが異なり（複断面）、歩車分離がなされているところを示します。

※水面中の赤い数字は前川河口（前川水門）からのおよその距離

(6) 福島橋～米島閘門—その2 ⑤地域資源

(6)福島橋～米島閘門—その2 ⑤地域資源



凡例

- 遊歩道
- 並木
- 生垣・緑
- 橋
- 公園
- 眺望点
- トイレ
- 駐車場
- 其他 (個別に記述)

※水面中の赤い数字は箭川河口 (箭川水門) からのおよその距離

